

令和3年度
愛媛県保育士等キャリアアップ研修
専門分野別研修「③障がい児保育」



期 日 令和3年8月26日（水）～27日（木）

場 所 愛媛県県民文化会館「真珠の間」

主 催 愛 媛 県

実 施 愛媛県保育協議会

協 力 愛媛県社会福祉協議会

目 次

- (1) 開催要項 1
- (2) 受講にあたっての注意事項 6
- (3) 講義資料 9

令和3年度 愛媛県保育士等キャリアアップ研修



開催要項

- 1 目的 本研修は、厚生労働省雇用均等・児童家庭局保育課長通知（平成29年4月1日付雇児保発0401第1号）で定める「保育士等キャリアアップ研修ガイドライン」に基づき、保育に必要な知識に関する理解を深め、実践的な能力を身に付けることを目的として開催します。
- 2 概要 (1) 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、eラーニング（Webを活用した通信教育）で実施します。できる限り、視聴期間の業務時間内に、パソコンやタブレット端末を使用して受講してください。
(2) 全8研修を4回に分けて案内します。
1回目（①乳児保育、②幼児教育）、2回目（③障がい児保育、④食育・アレルギー対応）、3回目（⑤保健衛生・安全対策、⑥保護者支援・子育て支援）、4回目（⑦マネジメント研修、⑧保育実践研修）に分けて申し込み期間を設けます。
(3) 勤務先の保育施設で受講することを原則としますが、施設的环境等により受講することが困難である等、やむを得ない場合に限り、特設会場（愛媛県総合社会福祉会館等）での受講に申し込むことが可能です。ただし、定員に限りがありますので、希望者多数の場合は、処遇改善加算Ⅱに影響のある私立の保育施設の申込者を優先します。
- 3 主催 愛媛県
- 4 実施 愛媛県保育協議会
- 5 協力 社会福祉法人愛媛県社会福祉協議会
- 6 視聴期間 別添「受講にあたっての注意事項」を参照
- 7 対象者 (1) 全課程を受講できる方
(2) 保育所等（※）の保育現場において、それぞれの専門分野に関してリーダー的な役割を担う方等（当該役割を担うことが見込まれる方を含む）
※子ども・子育て支援法に基づく特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業
- 8 受講料 2,000円（1研修につき）
- 9 定員 400名（1研修につき）
- 10 研修形式 (1) 講義／個人ワーク
(2) 修了レポート
(3) 受講報告書（講義に関する確認問題）

11 研修内容

専門分野別研修「①乳児保育」

(1) 乳児保育の意義 ①乳児保育の役割と機能 ②乳児保育の現状と課題
(2) 乳児保育の環境 ①乳児保育における安全な環境 ②乳児保育における個々の発達を促す生活と遊びの環境 ③他職種との協働
(3) 乳児への適切なかかわり ①乳児保育における配慮事項 ②乳児保育における保育者のかかわり ③乳児保育における生活習慣の援助やかかわり
(4) 乳児の発達に応じた保育内容 ①保育所保育指針について ②乳児の発達と保育内容 ③1歳以上3歳未満児の発達と保育内容
(5) 乳児保育の指導計画、記録及び評価 ①全体的な計画に基づく指導計画の作成 ②観察を通しての記録及び評価 ③評価の理解及び取組

専門分野別研修「②幼児教育」

(1) 幼児教育の意義 ①幼児教育の役割と機能 ②幼児教育の現状と課題 ③幼児教育と児童福祉の関連性
(2) 幼児教育の環境 ①幼児期にふさわしい生活 ②遊びを通しての総合的な指導 ③一人一人の発達の特性に応じた指導 ④多職種との協働
(3) 幼児の発達に応じた保育内容 ①保育所保育方針について ②資質と能力を育むための保育内容 ③個々の子どもの発達の状況に応じた幼児教育
(4) 幼児教育の指導計画、記録及び評価 ①全体的な計画に基づく指導計画の作成 ②観察を通しての記録及び評価 ③評価の理解及び取組
(5) 小学校との接続 ①小学校教育との接続 ②アプローチカリキュラムとスタートカリキュラムの理解 ③保育所児童保育要録

専門分野別研修「③障がい児保育」

(1) 障がいの理解 ①障がいのある子どもの理解 ②医療的ケア児の理解 ③合理的配慮に関する理解 ④障がい児保育に関する現状と課題
(2) 障がい児保育の環境 ①障がい児保育における個々の発達を促す生活と遊びの環境 ②障がいのある子どもと保育者との関わり ③障がいのある子どもと他の子どもとの関わり ④他職種との協働
(3) 障がい児の発達の援助 ①障がいのある子どもの発達と援助
(4) 家庭及び関係機関との連携 ①保護者や家族に対する理解と支援 ②地域の専門機関等との連携及び個別の支援計画の作成 ③小学校等との連携
(5) 障がい児保育の指導計画、記録及び評価 ①全体的な計画に基づく指導計画の作成と観察・記録 ②個別指導計画作成の留意点 ③障がい児保育の評価

専門分野別研修「④食育・アレルギー対応」

(1) 栄養に関する基礎知識 ①栄養の基本的概念と栄養素の種類と機能 ②食事摂取基準と献立作成・調理の基本 ③衛生管理の理解と対応
(2) 食育計画の作成と活用 ①食育の理解と計画及び評価 ②食育のための環境（他職種との協働等） ③食生活指導及び食を通じた保護者への支援 ④第三次食育推進基本計画
(3) アレルギー疾患の理解 ①アレルギー疾患の理解 ②食物アレルギーのある子どもへの対応
(4) 保育所における食事の提供ガイドライン ①保育所における食事の提供ガイドラインの理解 ②食事の提供における質の向上
(5) 保育所におけるアレルギー対応ガイドライン ①保育所におけるアレルギー対応ガイドラインの理解 ②アナフィラキシーショック（エピペンの使用方法を含む）の理解と対応

専門分野別研修「⑤保健衛生・安全対策」

(1) 保健計画の作成と活用 ①子どもの発育・発達の理解と保健計画の作成 ②保健活動の記録と評価 ③個別的な配慮を必要とする子どもへの対応（慢性疾患等）
(2) 事故防止及び健康安全管理 ①事故防止及び健康安全管理に関する組織的取組 ②体調不良や傷がいが発生した場合の対応 ③救急処置及び救急蘇生法の習得 ④災害への備えと危機管理 ⑤多職種との協働
(3) 保育所における感染症対策ガイドライン ①保育所における感染症対策ガイドラインの理解 ②保育所における感染症の対策と登園時の対応
(4) 保育の場において血液を介して感染する病気を防止するためのガイドライン ①保育の場において血液を介して感染する病気を防止するためのガイドラインの理解 ②保育所における血液を介して感染する感染症の対策と対応
(5) 教育・保育施設等における事故防止及び事故発生時の対応のためのガイドライン ①教育・保育施設等における事故防止及び事故発生時の対応のためのガイドラインの理解 ②安全な環境づくりと安全の確認方法

専門分野別研修「⑥保護者支援・子育て支援」

(1) 保護者支援・子育て支援の意義 ①保護者支援・子育て支援の役割と機能 ②保護者支援・子育て支援の現状と課題 ③保育所の特性を活かした支援 ④保護者の養育力の向上につながる支援
(2) 保護者に対する相談援助 ①保護者に対する相談援助の方法と技術 ②保護者に対する相談援助の計画、記録及び評価
(3) 地域における子育て支援 ①社会資源 ②地域の子育て家庭への支援 ③保護者支援における面接技法
(4) 虐待予防 ①虐待の予防と対応等 ②虐待の事例分析
(5) 関係機関との連携、地域資源の活用 ①保護者支援・子育て支援における専門職及び関係機関との連携 ②保護者支援・子育て支援における地域資源の活用 ③「子どもの貧困」に関する対応

「⑦マネジメント研修」

(1) マネジメントの理解 ①組織マネジメントの理解 ②保育所におけるマネジメントの現状と課題 ③関係法令、制度及び保育指針等についての理解 ④他専門機関との連携・協働
(2) リーダーシップ ①保育所におけるリーダーシップの理解 ②職員への助言・指導 ③他職種との協働
(3) 組織目標の設定 ①組織における課題の抽出及び解決策の検討 ②組織目標の設定と進捗管理
(4) 人材育成 ①職員の資質向上 ②施設内研修の考え方と実践 ③保育実習への対応
(5) 働きやすい環境づくり ①雇用管理 ②ICTの活用 ③職員のメンタルヘルス対策

「⑧保育実践研修」

(1) 保育における環境構成 ①子どもの感性を養うための環境構成と保育の展開
(2) 子どもとの関わり方 ①子どもの発達に応じた援助方法に関する実践方法
(3) 身体を使った遊び ①身体を使った遊びに関する実践方法
(4) 言葉・音楽を使った遊び ①言葉・音楽を使った遊びに関する実践方法
(5) 物を使った遊び ①物を使った遊びに関する実践方法

12 日 程 別添「受講にあたっての注意事項」を参照

13 受講確認 別添「受講にあたっての注意事項」、「eラーニング受講方法」を参照
修了評価

14 申込方法 (1) 申込方法：インターネット
申込締切 愛媛県保育協議会ホームページ「保育士等キャリアアップ研修申込ページ」からお申し込みください。
【URL】<http://www.ehime-hoiku.jp/>（「愛媛県保育協議会／えひめの保育」で検索）
※インターネット以外でのお申し込みはできません。

(2)	1回目「①乳児保育、②幼児教育」 申込開始 令和3年5月17日（月） 申込締切 令和3年6月2日（水）
	2回目「③障がい児保育、④食育・アレルギー対応」 申込開始 令和3年7月上旬 申込締切 令和3年7月28日（水）
	3回目「⑤保健衛生・安全対策、⑥保護者支援・子育て支援」 申込開始 令和3年8月上旬 申込締切 令和3年9月8日（水）
	4回目「⑦マネジメント研修、⑧保育実践研修」 申込開始 令和3年12月上旬 申込締切 令和3年12月27日（月）

- 15 受講決定
受講料納入
キャンセル
- (1) 受講決定
 - ①申し込み締切後、愛媛県保育協議会で受講者を決定し、所属施設に「受講決定通知」等を郵送します。
 - ②1回目申込分は6月22日(火)、2回目申込分は8月18日(水)、3回目申込分は9月28日(火)、4回目申込分は1月18日(火)を過ぎても届かない場合は、下記事務局へお問い合わせください。
 - (2) 受講料納入：銀行振込
 - ①受講決定通知送付時に「払込済通知書(専用振込用紙)」を同封しますので、県内伊予銀行窓口でお振込みください。(手数料無料)
※一度納入された受講料は返金できません。
 - ②「払込済通知書の控え(払込人保管分)」を「領収書」とします。
※同通知書には銀行領収印が押印されるため、領収書として効力を有します。
 - (3) 申込後のキャンセル及び情報の修正がある場合は、愛媛県保育協議会事務局へご連絡ください。
※キャンセル及び修正は、ホームページから手続きできません。
 - (4) 受講決定通知に記載した指定日までにご連絡がなかった場合は、受講料全額をお支払いいただきますので、あらかじめご了承ください。
また、受講料の未払い等がある場合は、今後の受講をお断りすることがあります。

- 16 昼食申込
(特設会場で受講する方)
- (1) 特設会場で受講する方は、昼食(弁当)を注文することができます。受講決定通知を受領後、弁当注文書に必要事項を記入の上、喫茶ふれあいに直接ご注文ください。
 - (2) 昼食代(お茶なし/2日分)：1,200円(税込)
 - (3) 代金は、当日「昼食受付」でお支払いください。(※つり銭のいらないようご注意ください。)
 - (4) 領収書が必要な方は、事前に、喫茶ふれあいに直接ご連絡ください。
 - (5) 申込後のキャンセルは、研修1週間前までに喫茶ふれあいに直接ご連絡ください。

[業者] 喫茶ふれあい(松山市持田町三丁目8番15号 愛媛県総合社会福祉会館1階)
TEL 089-921-7022 / FAX 089-921-2225

- 17 留意事項
- (1) 本研修は、愛媛県から委託を受け、愛媛県保育協議会が実施するものです。
 - (2) 愛媛県保育協議会は研修実施機関であるため、「処遇改善加算」等に関する内容には回答できません。同内容については、愛媛県(子育て支援課 保育・幼稚園係089-912-2412)へお問い合わせください。
 - (3) 本研修は、県内全保育士等の資質向上を目的としているため、要件を満たす方は、受講申し込みをすることができます。(上記「7対象者」参照)
※「処遇改善の可否」や「施設区分(公立/私立等)の別」は問いません。
 - (4) 愛媛県保育協議会が取得した個人情報、本研修の運営・管理の目的に限り使用することとし、修了評価及び受講履歴管理等を行うため、愛媛県と共有します。
 - (5) 特設会場は、新型コロナウイルス感染拡大状況により利用することができなくなる場合がありますので、できる限り、勤務先の保育施設での受講にご協力ください。

- 18 問合せ先
- (1) 動画の視聴方法に関してのお問い合わせ
株式会社保育のデザイン研究所
神奈川県藤沢市南藤沢17-16秋山IIビル602号室
TEL 0466-90-3952 / FAX 0466-90-3339
メール on@hoiku-design.net
 - (2) 研修の運営方法についてのお問い合わせ
愛媛県保育協議会事務局(担当：高瀬・友澤)
愛媛県社会福祉協議会 福祉人材部 人材研修課内
〒790-8553 松山市持田町三丁目8番15号 愛媛県総合社会福祉会館2階
TEL 089-921-8566 / FAX 089-921-3398
メール jimukyoku@ehime-hoiku.jp / URL http://www.ehime-hoiku.jp/

愛媛県保育士等キャリアアップ研修 受講にあたっての注意事項

愛媛県保育協議会

1 研修概要

本研修は、厚生労働省雇用均等・児童家庭局保育課長通知（平成29年4月1日付雇児保発0401第1号）で定める「保育士等キャリアアップ研修ガイドライン」に基づき、愛媛県から委託を受け、愛媛県保育協議会が実施するものです。

2 研修分野

- (1) 専門分野別研修「①乳児保育」
- (2) 専門分野別研修「②幼児教育」
- (3) 専門分野別研修「③障がい児保育」
- (4) 専門分野別研修「④食育・アレルギー対応」
- (5) 専門分野別研修「⑤保健衛生・安全対策」
- (6) 専門分野別研修「⑥保護者支援・子育て支援」
- (7) 「⑦マネジメント研修」
- (8) 「⑧保育実践研修」

3 実施概要

(1) 修了要件

下記全課程の受講を必須とします。

保育士等キャリアアップ研修全課程

研修全日程受講
(eラーニング)

+

修了レポート・受講報告書の
作成・提出

(2) 視聴期間等

研修名	eラーニング 視聴期間	特設会場で受講する場合 ※新型コロナウイルス感染拡大状況により、変更になる場合があります。		レポート・受講報告書提出期間 ※消印有効
①乳児保育	6月28日(月) ～ 7月5日(月)	1日目	日程：6月28日(月) 会場：愛媛県県民文化会館「真珠の間」 ◇受付 9:30～9:50 ◇オリエンテーション 9:50～10:00 ◇講義 10:00～18:00 ※昼食休憩50分を含む。	6月28日(月) ～ 7月20日(火)
		2日目	日程：6月29日(火) 会場：愛媛県県民文化会館「真珠の間」 ◇講義 9:00～18:00 ※昼食休憩50分を含む。	
②幼児教育	8月10日(火) ～ 8月17日(火)	1日目	日程：8月10日(火) 会場：愛媛県総合社会福祉会館2階「多目的ホール」 ◇受付 9:30～9:50 ◇オリエンテーション 9:50～10:00 ◇講義 10:00～18:00 ※昼食休憩50分を含む。	8月10日(火) ～ 9月1日(水)
		2日目	日程：8月11日(水) 会場：愛媛県総合社会福祉会館2階「多目的ホール」 ◇講義 9:00～18:00 ※昼食休憩50分を含む。	

研修名	eラーニング 視聴期間	特設会場で受講する場合 ※新型コロナウイルス感染拡大状況により、変更になる場 合があります。		レポート・受講報 告書提出期間 ※消印有効
③障がい 児保育	8月26日(木) ～ 9月2日(木)	1日目	日程：8月26日(木) 会場：愛媛県県民文化会館「真珠の間」 ◇受付 9：30～ 9：50 ◇オリエンテーション 9：50～10：00 ◇講義 10：00～18：00 ※昼食休憩50分を含む。	8月26日(木) ～ 9月17日(金)
		2日目	日程：8月27日(金) 会場：愛媛県県民文化会館「真珠の間」 ◇講義 9：00～18：00 ※昼食休憩50分を含む。	
④食育・ アレル ギー対 応	9月14日(火) ～ 9月21日(火)	1日目	日程：9月14日(火) 会場：愛媛県総合社会福祉会館2階「多目的ホール」 ◇受付 9：30～ 9：50 ◇オリエンテーション 9：50～10：00 ◇講義 10：00～18：00 ※昼食休憩50分を含む。	9月14日(火) ～ 10月6日(水)
		2日目	日程：9月15日(水) 会場：愛媛県総合社会福祉会館2階「多目的ホール」 ◇講義 9：00～18：00 ※昼食休憩50分を含む。	
⑤保健衛 生・安 全対策	10月4日(月) ～ 10月11日(月)	1日目	日程：10月4日(月) 会場：愛媛県総合社会福祉会館2階「多目的ホール」 ◇受付 9：30～ 9：50 ◇オリエンテーション 9：50～10：00 ◇講義 10：00～18：00 ※昼食休憩50分を含む。	10月4日(月) ～ 10月26日(火)
		2日目	日程：10月5日(火) 会場：愛媛県総合社会福祉会館2階「多目的ホール」 ◇講義 9：00～18：00 ※昼食休憩50分を含む。	
⑥保護者 支援・ 子育て 支援	11月11日(木) ～ 11月18日(木)	1日目	日程：11月11日(木) 会場：愛媛県総合社会福祉会館2階「多目的ホール」 ◇受付 9：30～ 9：50 ◇オリエンテーション 9：50～10：00 ◇講義 10：00～18：00 ※昼食休憩50分を含む。	11月11日(木) ～ 12月3日(金)
		2日目	日程：11月12日(金) 会場：愛媛県総合社会福祉会館2階「多目的ホール」 ◇講義 9：00～18：00 ※昼食休憩50分を含む。	
⑦マネジ メント 研修	1月25日(火) ～ 2月1日(火)	1日目	日程：1月25日(火) 会場：愛媛県総合社会福祉会館2階「多目的ホール」 ◇受付 9：30～ 9：50 ◇オリエンテーション 9：50～10：00 ◇講義 10：00～18：00 ※昼食休憩50分を含む。	1月25日(火) ～ 2月16日(水)
		2日目	日程：1月26日(水) 会場：愛媛県総合社会福祉会館2階「多目的ホール」 ◇講義 9：00～18：00 ※昼食休憩50分を含む。	

研修名	eラーニング 視聴期間	特設会場で受講する場合 ※新型コロナウイルス感染拡大状況により、変更になる場 合があります。		レポート・受講報 告書提出期間 ※消印有効
		1日目	2日目	
⑧保育実 践研修	2月9日(水) ～ 2月16日(水)	1日目	日程：2月9日(水) 会場：愛媛県総合社会福祉会館2階「多目的ホール」 ◇受付 9:30～9:50 ◇オリエンテーション 9:50～10:00 ◇講義 10:00～18:00 ※昼食休憩50分を含む。	2月9日(水) ～ 3月3日(木)
		2日目	日程：2月10日(木) 会場：愛媛県総合社会福祉会館2階「多目的ホール」 ◇講義 9:00～18:00 ※昼食休憩50分を含む。	

(3) 修了レポート

- ①提出：全員必須
 - ②文章量：各項目概ね7割以上の記入が必要です。
 - ③作成方法：手書き又はデータ入力
 - ④提出方法：提出期間中に、事務局へ提出してください。(メール・郵送・持参)
- ※修了レポートの様式は、愛媛県保育協議会ホームページ(「<http://www.ehime-hoiku.jp/>」又は「えひめの保育」で検索)にデータを掲載します。

(4) 受講報告書

- ①提出：全員必須
 - ②作成方法：手書き又はデータ入力
 - ③提出方法：提出期間中に、事務局へ提出してください。(メール・郵送・持参)
- ※様式は、愛媛県保育協議会ホームページ(「<http://www.ehime-hoiku.jp/>」又は「えひめの保育」で検索)にデータを掲載します。また、回答例は、視聴期間終了後に愛媛県保育協議会ホームページ(<http://www.ehime-hoiku.jp/>)に掲載します。

修了レポート・受講報告書提出先

【メールで提出する場合】jimukyoku@ehime-hoiku.jp

【郵送又は持参で提出する場合】〒790-8553 松山市持田町三丁目8番15号 愛媛県総合社会福祉会館2階
愛媛県保育協議会事務局 宛

※どちらの場合も、メールタイトル又は封筒表面に「研修レポート等提出(研修名)」と記入してください。

(5) 修了評価

- ①受講確認 愛媛県保育協議会事務局が、管理画面で受講者ごとに取り組み状況を確認します。
- ②留意事項 下記の方は、修了評価を行わない場合があります。
 - 動画の早送り等、不正行為をした方
 - 特設会場で受講する場合で、遅刻・早退・離席・欠席により、全日程の受講を確認できなかった方
 - 愛媛県保育協議会の指示に従わないなど、受講態度が不適切な者や内容の理解を著しく欠いていると判断した方
- ③修了証 全日程を受講した方に修了証を郵送します。

4 事務局

愛媛県社会福祉協議会 福祉人材部 人材研修課内(担当：高瀬・友澤)

〒790-8553 松山市持田町三丁目8番15号 愛媛県総合社会福祉会館2階

TEL 089-921-8566 / FAX 089-921-3398

Eメール jimukyoku@ehime-hoiku.jp / URL <http://www.ehime-hoiku.jp/>

[ワーク1]
障害とは 何ですか？

ワーク時間
グループの場合 4分
個人の場合 2分

障害とはなにか

国立特別支援教育総合研究所
久保山 茂樹



※空欄に書き出してみましょう。
※グループの場合は、書き出したものをもとに、話し合ってみてください。

障害とは 何ですか？

- >久保山はメガネをかけていますが、
障害者とは、呼ばれない。それはどうして？
- >もし、メガネのない時代に生まれたとしたら、
どうなるの？
- >特別な支援が必要な子どもにとっての
メガネとは？
- >「メガネがなくても、大丈夫な環境」を
作れないだろうか？



園庭の真ん中に一人でしゃがんで、
土を掘っては型抜きをくりかえしていた男の子



[ワーク2] 園庭の真ん中に一人でしゃがんで、
土を掘っては型抜きをくりかえしていた男の子

ワーク時間
グループの場合 4分
個人の場合 2分



※空欄に書き出してみましょう。
※グループの場合は、書き出したものをもとに、話し合ってみてください。

[ワーク3]
この男の子から学ぶことは
何ですか？

ワーク時間 2分

子どもとの関係をふりかえる・・・

自分が ○○さん にとって
コミュニケーションする
価値のある人間かどうか
考えたことがありますか？



故 菅原廣一先生から
久保山への教えと戒め
相手の課題ばかりを見ていないか？
自分は、相手からどう見えているのか？

[ワーク4①] 園庭にある野菜のプランターに
水やりをしている男の子
どうして水やりを
しているのでしょうか？

ワーク時間
グループの場合 4分
個人の場合 2分



※空欄に書き出してみましょう。
※グループの場合は、書き出したものをもとに、話し合ってみてください。

【ワーク4②】 園庭にある野菜のプランターに
水やりをしている男の子

どうして水やりを
しているのでしょうか？

ワーク時間 2分



© 2014 Pearson Education, Inc.

障害から見る事、障害から見ないこと

➤ 障害から見る者の視点

= 評価のまなざし

→ あの子をなんとか変えなくちゃ！

➤ とともに生活する者の視点

= 共感のまなざし

→ なるほど！ おもしろい！

→ どうかかわろうかな？



どの視点で、
子どもを見たいですか？ かかわりたいですか？

© 2014 Pearson Education, Inc.

言葉の使い方…どれが良いのでしょうか

- ① 障害児
- ② 障害を持つ子ども
- ③ 障害のある子ども
- ④ 特別な教育的ニーズのある子ども
- ⑤ ○○な子ども さらに →

© 2014 Pearson Education, Inc.

子どもを表す言葉を豊かに！

かかわり手の思いが伝わる表現にしたい

例えば…話しことばの数は多いのに、

通じ合っていない気がするAくん

- ・ADHD と言わずに・・・
 元気で活発だ アイデアマンだ
- ・自閉症 と言わずに・・・
 集中力がある もの知りだ
- ・障害児 と言わずに・・・
 ひと手間かけてあげたいお子さん



© 2014 Pearson Education, Inc.

振り返りシート	受講日	年	月	日
研修を受けて 感じたこと、考えたこと				
チャレンジしたいこと、 改善していきたいこと等 (振り返り予定 月 日)				
振り返りと次の目標 (実施日 月 日)				

3.障害児保育

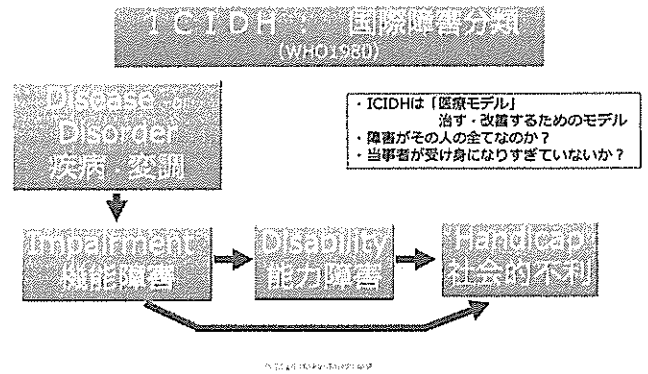
SH1.障害とその支援に関する理解

SH1-2

障害の考え方の変遷

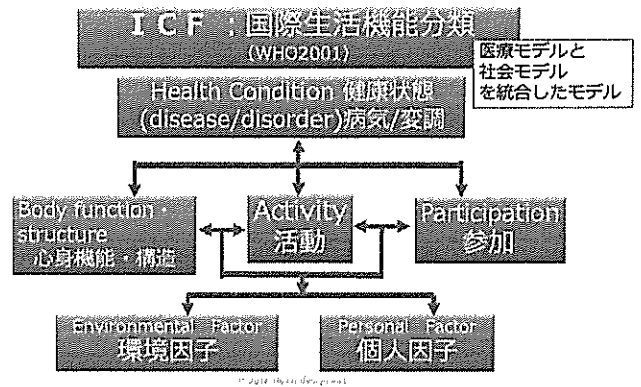
※資料からは写真が掲載されている
スライドを抜いています。

国立特別支援教育総合研究所
久保山 茂樹



[ワーク1] ICIDHという考え方について、
なぜ批判があったと思いますか？

ワーク時間 2分



バリアフリー と ユニバーサルデザイン
共生社会の形成に不可欠な考え方

バリアフリー

障害のある人が、いま持っている力を
発揮できるための配慮や環境

ユニバーサルデザイン

すべての人が過ごしやすい配慮や環境



[ワーク2]

ワーク時間 1分



支援の必要な子どものための

合理的配慮 と 基礎的環境整備

- 久保山はメガネをかけているけれど、今の日本では障害のある人とは呼ばれない
- もし、久保山がメガネのない国に生まれたとしたら、どうだろうか？

支援の必要な子どもに適切な **メガネ** がある

= **合理的配慮** と、ともに

メガネがなくてもだいじょうぶ な環境を整える

すべての子どもが過ごしやすい、わかりやすい環境

= **基礎的環境整備**

振り返りシート	受付日	年	月	日
研修を受けて 感じたこと、考えたこと				
チャレンジしたいこと、 改善していきたいこと等 (振り返り予定 月 日)				
振り返りと次の目標 (実施日 月 日)				

10年後の社会 20年後の社会

子どもたちが大人になって活躍する頃、
どんな社会になっていると思いますか？



子どもたちに
どんな社会を話したいですか？

共生社会と特別支援教育

国立特別支援教育総合研究所
久保山 茂樹



共生社会の形成を目指す者として

「共生社会」とは、これまで必ずしも十分に社会参加
できるような環境になかった障害者等が、積極的に参加・
貢献していくことができる社会である。

それは、誰もが相互に人格と個性を尊重し支え
合い、人々の多様な在り方を相互に認め合える
全員参加型の社会である。

このような社会を目指すことは、我が国において最も積
極的に取り組むべき重要な課題である。

「共生社会の形成に向けたインクルーシブ教育システム構築のための特別支援教育
の推進（報告）」（平成24年7月 中央教育審議会初等中等教育分科会報告）

インクルーシブ教育システム とは

インクルーシブ教育システムとは、人間の多様性の尊重等
の強化、障害者が精神的及び身体的な能力等を可能な最大限
度まで発達させ、自由な社会に効果的に参加することを可能
とするとの目的の下、

- 障害のある者と障害のない者が共に学ぶ仕組み
- 障害のある者が一般的な教育制度から排除されない
- 自己の生活する地域において初等中等教育の機会が与えら
れる
- 個人に必要な 「合理的配慮」 が提供される
等が必要とされている。

障害者の権利に関する条約第24条 教育 を中教審が要約

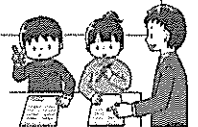
インクルーシブ教育システム構築のための 特別支援教育の推進

特別支援教育は、共生社会の形成に向けて、インクルー
シブ教育システム構築のために必要不可欠なものである。
（略）

特別支援教育を推進していくことは、子ども一人一人の
教育的ニーズを把握し、適切な指導及び必要な支援を行う
ものであり、この観点から教育を進めていくことにより、
障害のある子どもにも、障害があることが周囲から認識さ
れていないものの学習上又は生活上の困難のある子どもに
も、更にはすべての子どもにとっても、良い効果をもたら
すことができるものと考えられる。

基本的な方向性としては、障害のある子どもと
障害のない子どもが、できるだけ同じ場で共に学ぶ
ことを目指すべきである。

その場合には、それぞれの子どもが、授業内容が
分かり学習活動に参加している実感・達成感を持ち
ながら、充実した時間を過ごしつつ、生きる力を身に
付けていけるかどうか、これが最も本質的な視点であ
り、そのための環境整備が必要である。



共生社会の形成をめざす者として

- いままでは、どちらかと言えば・・・
障害のある人が、社会に合わせてきた。
障害のある子どもが、園や学校に合わせてきた。
- これからは、
社会が、どれだけ多様な人々に合わせていけるか
園や学校が、多様な子どもがいることを前提に
変わっていけるのかが問われる。
- そのために変わり続ける社会こそが、共生社会
園・学校は、共生社会の担い手 を育む場となる。



共生社会の形成をめざす者として

保育者が、多様な価値観を持つこと

- ・早くできることは、素晴らしい！ でも・・・
→ も素晴らしい！
- ・大きな声で話せることは、素晴らしい！ でも・・・
→ も素晴らしい！
- ・すらすらと読めることは、素晴らしい！ でも・・・
→ も素晴らしい！
・・・なクラスも素敵！

[ワーク2]

多様な価値観を持って保育できた場면을
思い出してみましょう。
それを周囲の人と話し合ってみましょう。
*個人で行う場合は、書き出してみましょう。

ワーク時間
グループの場合 5分
個人の場合 3分

振り返りシート	受講日	年	月	日
研修を受けて 感じたこと、考えたこと				
チャレンジしたいこと、 改善していきたいこと等 (振り返り予定 月 日)				
振り返りと次の目標 (実施日 月 日)				

3.障害児保育

SH1.障害とその支援に関する理解

SH1-4

合理的配慮と基礎的環境整備、
そして、保育

※資料からは写真が掲載されている
スライドを抜いています。

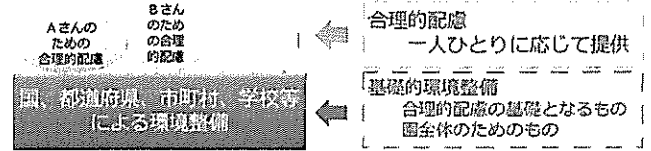
国立特別支援教育総合研究所
久保山 茂樹

© 2015 NIES. All Rights Reserved.



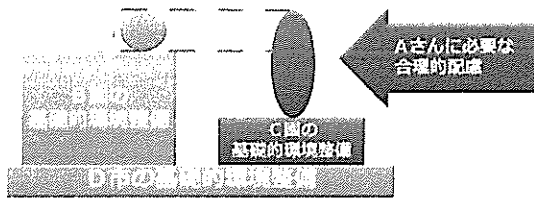
合理的配慮と基礎的環境整備

合理的配慮・・・障害のある子どもが、他の子どもと平等に
「教育を受ける権利」を享有・行使することを確保するために
・学校の設置者及び学校が 必要かつ適宜な変更・調整を行うこと
・障害のある子どもに対し、その状況に応じて、学校教育を受ける
場合に 個別に必要とされるもの
・学校の設置者及び学校に対して、体制面、財政面において、
均衡を失した又は過度の負担を課さないもの



基礎的環境整備 の充実 = 保育の質の向上

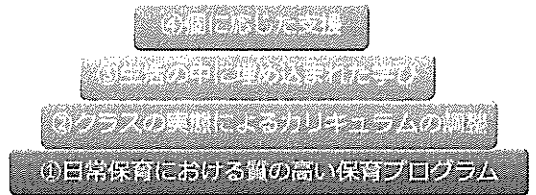
基礎的環境整備 によって、必要な合理的配慮 は変わる
同じAさんが、基礎的環境整備の充実したB園に通うのと、
充実していないC園に通うのでは、必要な合理的配慮が異なる。
環境を整える、かかわりを変える = 保育の質が向上する



幼児期の 特別な支援 と 保育の質

・特別な手法や道具が、すべてではない
・子どもの視点で、保育を見直すことが
→ 保育そのものの質の向上につながる

合理的配慮
④
③
②
①
基礎的環境整備



S.R.Sandall et.al (2002,2019) Building Blocks

共生社会の形成に向けて、保こ幼が持つ強み
久保山がお世話になっている園はどの園も↓

1. 保育に、ゆるやかさ がある
→ ゆるやかさが、子どもの安心=これならだいじょうぶ
につながっている
2. 保育者が、自分の手を大きくしようとしている
→ 子どもから学び、保育の質を向上させている
3. 保育者たちが、手を重ね合わせようとしている
→ SOSも、知恵も出し合える
=同僚性が大切にされている



© 2015 NIES. All Rights Reserved.

[ワーク]

基礎的環境整備の考え方を踏まえて
保育をどのように見直すか考えましょう
それを周囲の人と話し合ってみましょう。
*個人で行う場合は、書き出してみましょう。

ワーク時間
グループの場合 5分
個人の場合 3分

保育者であることの強み を生かそう！

- 「障害の専門家」では、ないけれど
→ 保育者としての経験 を活用できる！
- 子どもの良さ、得意分野 に着目できる
- 「うーん、そうきたか！ じゃあ 今度は・・・」
→ うまいかなくても、次がある！
- まわりの子どもの力を借りられる



© 2015 NIES. All Rights Reserved.

振り返りシート	受講日	年	月	日
研修を受けて 感じたこと、考えたこと				
チャレンジしたいこと、 改善していきたいこと等 (振り返り予定 月 日)				
振り返りと次の目標 (実施日 月 日)				

3.障害児保育

SH2.気になる子どもの視点から保育を見直す

SH2-1

保育における特別な支援

国立特別支援教育総合研究所
久保山 茂樹



© 2019 NISSHO University, Inc.

どの園・学校でも日々起きている大変な状況
あばれる、大声、傷つけることば……その中で

▶先生も、苦しい

- ・私が担任でなければ、うまくいっているはず
- ・指導力不足と言われたくない
- ・あの子だけ特別なことをしているの？

▶保護者も、苦しい

- ・私の育て方の問題かもしれない、親失格だ
- ・私の育て方のせいにされたくない
- ・うちの子だけ特別なことをされるのは嫌

© 2019 NISSHO University, Inc.

[ワーク]

ワーク時間 2分

「気になる子」を1人、
思い浮かべて下さい。



「その子(〇〇ちゃん)は、
どんな子どもですか？」と
きかれたら、どう答えますか？
一言で書いてみませんか。

© 2019 NISSHO University, Inc.

先生方がつながることがいちばん大切!

▶1人の100歩より

100人の1歩が 園を変える!

- ・ひとりで困っている先生は、いませんか?
- ・ひとりで抱えている先生は、いませんか?

▶お茶を飲みながら

子どもの話ができる雰囲気作りを!

- ・相談することができる = 大切な能力!
- ・SOSも、知恵も出して、みんなで支えあう

© 2019 NISSHO University, Inc.

先生も、保護者も、がんばっている!

- 先生として、親として、逃げずに、
子どもと生きてきた歴史がある
- 試行錯誤の中にも、ヒントがある
うまくいかなかったことも、大事なヒント
だから・・・
- 誰かを責めないで、つながろう
工夫やヒントをあつめたら、
みんなで使える宝物になる!



子どもの過ごしやすさ・学びやすさの実現!

© 2019 NISSHO University, Inc.

保育所・認定こども園・幼稚園は
すでに、特別支援教育の考え方を実践している

幼児一人一人の特性に応じた特別支援教育は、
一人一人の幼児の姿を丁寧に見取り、適当な環境
を整え、遊びを通じた教育を進める幼児教育の考え
そのものである (国館市立はこだて幼稚園:2015)

保育所保育指針 (第1章総則 1 保育所保育に関する基本原則)

(3)保育の方法 ウ 子どもの発達について理解し、
一人一人の発達過程に応じて保育すること。
その際、子どもの個人差に十分配慮すること。

© 2019 NISSHO University, Inc.

幼稚園・こども園・保育所あるある (初級編)

どうして、こういう掲示があるのでしょうか?



© 2019 NISSHO University, Inc.

幼稚園・こども園・保育所あるある (中級編)

- 4歳児クラス。担任は新卒の先生。
- ・プール遊びから保育室に戻る時間。
- ・1人の男の子が嫌がる。泥遊び、汚い言葉・・・
→ なんとか、保育室に入れて、着替えたが
- ・それ以降
・「先生なんか嫌いだあ!」「あっちいけ!!!」
- ・帰りの会では、積み木を崩して大音量!!!
- ・担任の先生は、困り果ててケース会議で相談。
会議で、先輩の先生たちが言った言葉は?

© 2019 NISSHO University, Inc.

幼稚園・こども園・保育所あるある (上級編)

5歳児クラス。動きの多い女の子。

- ・「久保山に見てほしい子リスト」に入っている。
 - ・確かに、朝、跳び箱の周辺で楽しそうに走り回る。でも…
 - ・クラスでの活動の時間、集団の中に入って、落ち着いて行動して、ほとんど目立たない。
- 降園後、先生たちが言った言葉は？

「今日、〇〇ちゃん、落ち着いていたね。きつと、

からだよね。

幼稚園・こども園・保育所と合理的配慮

あの子が居ると大変だ！ だから → あの子のために、こうしよう

特別な支援が必要な子

- ・行動の切りかえが難しい
- ・次の行動にうつることが、難しい

合理的配慮の例

- ・タイマーで終了を明示する
- ・絵カードで次の行動を伝え、切りかえを促す

特別な支援が必要な子

- ・刺激に反応しやすい
- ・保育室から出ていくことが多くて、目が離せない。

合理的配慮の例

- ・その子のために支援員を配置して、保育室に居られるよう促す

ありがちな「わかりやすい」発想。でも、なにか違和感がある……

基礎的環境整備とは、保育の質を向上させること

あの子が居るからではなく
特別な支援が必要な子

- ・行動の切りかえが難しい
- ・次の行動にうつることが、難しい

特別な支援が必要な子

- ・刺激に反応しやすい
- ・保育室から出ていくことが多くて、目が離せない。

一人ひとりの子どもが、満足でき、安心できる保育をめざすことで、個への配慮は、少なくなる

基礎的環境整備
としての保育の見直し

- 例えば、
- 一人ひとりの子どもが、満足するまで遊びこめる保育を実現する

- ・しなくてはならないことが少ない保育を実現する

発達障害 の考え方が浸透して・・・

➤あの子のせいで、私は困る と考えるのではなく

➤あの子の困った行動には、理由がある
・困っているのは子ども だと考えてみる

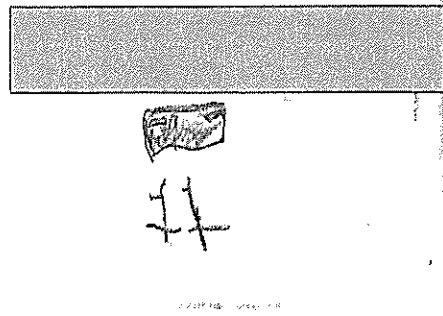
➤あの子が困らないようにしましょう！
・タイマーなど、特別な方法を使おう
・専門機関にお願いしよう

わかりやすい考え方 → でも、なにかちがうのでは…

振り返りシート	受講日	年	月	日
研修を受けて感じたこと、考えたこと				
チャレンジしたいこと、改善していきたいこと等 (振り返り予定 月 日)				
振り返りと次の目標 (実施日 月 日)				

個に応じることと集団が変わること

国立特別支援教育総合研究所
久保山 茂樹



ワーク時間 2分

発達障害 の考え方が浸透して・・・

- ▶あの子のせいで、私は困る と考えるのではなく
- ▶あの子の困った行動には、理由がある
 - ・困っているのは子ども だと考えてみる
- ▶あの子が困らないようにしましょう!
 - ・タイマーなど、特別な方法を使おう
 - ・専門機関にお願いしよう

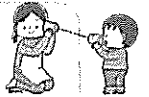
わかりやすい考え方 → でも、なにがちがうのでは・・・

行動だけではなく、心もちを想像して、かかわる!

- ・こんなにがんばっているのに
- ・こんなに良いところがあるのに、
どうして、ほめてもらえないの

幼児期から大切にしたい

- SOSを出していいんだよ!
- あなたの良さを大切にしようよ!
- 自分を好きになろうよ!
→ 自己肯定感 を持てるかかわりを!



子どもが、苦手さもことばにできる大人でありたい

「名前を書こう」と言ったとき、A児は、まゆを
しかめました。「難しい?」とたずねると、
A児は「うーうん!」と言いました。
「難しいとは言いたくないのかもしれない」と思って
「ちょっと難しい?」
と少し思考の幅を広げて聞くと
A児は「・・・うん」と言うことができました。

(大本正子: 2006)

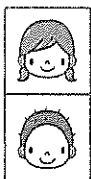
好きなこと 得意なこと・・・ 必ずある!
支援の必要な子どもにも、先生にも

- 子どもの好きなこと・得意なことで、
かかわる → もちろん大事!
- 先生の好きなこと・得意なことで、
徹底的に遊び込む → もっと大事!

↓
子どもは、目を輝かせて遊ぶ
先生が大好き!



共生社会の実現といいながら
少数が、多数に近づくことを求めているか?



能力を身につける
できないことを、
努力して、できるようにする
SST、読み書き……
※SST = Social Skills Training



能力をおきながら
できないことを、
道具等で、できるようにする
イヤマフ、タブレット……

少数が多数に近づく方向性
-できないことをできるようにすること-



能力を身につける
能力をおきながら



大切であることと聞いたらできないでも・・・

- 子どもの うまうまかなさへの着目 が増えていないか?
- アセスメントと言いながら、子どものうまうまかなさを鮮明に
していないか? 良さ、得意を見ているか?
- うまうまかなさ に対する支援が、多数に近づくため
になっていないか?

多数が少数に近づく という方向性はないのか？

- 多数が変わるという発想 -



子どもの権利

多様性への気づき
得意、良さも知ること
主観による誤行錯誤

保育者の改善

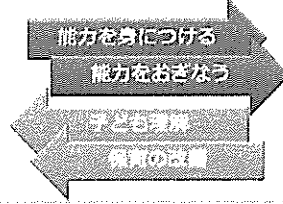
だれもが、過ごしやすい
学びやすい環境づくり



- ・ 特別な支援ではない
- ・ 保育者が、もともと持つ専門性のはず

© 2018 K&K Design, Inc.

双方向とも必要なのは当然 でも...



- ・ これまでの10年は、右向き矢印→ を追求してきた
= 「少数」をどう「多数」に合わせるかを求めてきた
- ・ これからの10年は、左向き矢印← の追求が必要
= 「多数」がどれだけ変わるかの挑戦！

© 2018 K&K Design, Inc.

振り返りシート	受講日	年	月	日
研修を受けて 感じたこと、考えたこと				
チャレンジしたいこと、 改善していきたいこと等 (振り返り予定 月 日)				
振り返りと次の目標 (実施日 月 日)				

3.障害児保育

SH2.気になる子どもの視点から保育を見直す
SH2-3

保育がうまくいかないのは
子どもだけに原因があるのだろうか

※資料からは写真が掲載されている
スライドや、ワークの答えのスラ
イドを抜いています。

国立特別支援教育総合研究所
久保山 茂樹



支援 という言葉を使う時に考えたい

アセスメント して 支援する が
普通に使われることで

知らず知らずのうちに
子どもの いま ここ を
否定 していないだろうか？

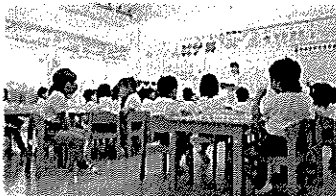


保育やかかわり方にも課題 があることを
棚上げ にしていないだろうか？

[ワーク1]

机を使うと…

ワーク時間
グループの場合 3分
個人の場合 2分



5歳児6月

子ども達が集中するために
どんな工夫をしますか？

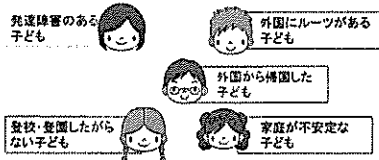
※空欄に書き出してみましょう。
※グループの場合は、書き出したものをもとに、話し合ってみてください。

[ワーク2]

ワーク時間 2分

- ・まる を 6個かいてください
- ・そのうち 半分を塗ってください

クラスには多様な子どもがいる
今までの保育で、7~8割の子どもは大丈夫かも
しれないけれど…



あの子にどうかかわったか を園として蓄積
一人ひとりを大切に保育が、さらに充実！

子どもたちとつながるために
保育所・こども園・幼稚園が大切にしてきたこと

- 子どもが困っているという視点
→ 保育がうまくいかない原因を子どもに求めない
- 子ども理解
→ 子どもを客観的に評価するだけではない
ともに生きる私の理解は十分か？という問い
- 子どもからの学び
→ 子どもは、支援の対象だけではない
保育者がどう変わる必要があるかを
教えてくれる存在



ある園長先生のお話から…

子どもたちが安心して乗ることができる手を持ちたいなど
思うんです。クラスの子たちがみんな乗れるような。

手から出ていこうとする子どももいるかもしれないし、指
と指の間から落っこちてしまいそうな子どももいるかもしれ
ないでしょ。そんな時は、こう考えるんです。

自分の手をもっと大きくすることはできないか、そして、
すきまがないようにできないかってね。

子どもたちの自発的な動きを止めることはしたくないので
す。でも、保育者が、自分の手を大きく、
すきまのないものすればだいじょうぶでしょ。



久保山(2017): 幼児期におけるインクルーシブな教育・保育。 探求づくりネットワーク25.

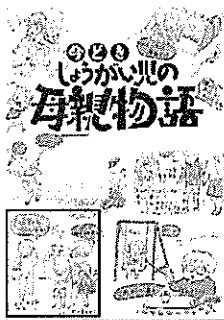
振り返りシート	受講日	年	月	日
研修を受けて 感じたこと、考えたこと				
チャレンジしたいこと、 改善していきたいこと等 (振り返り予定 月 日)				
振り返りと次の目標 (実施日 月 日)				

子どもは いま ここ を 懸命に生きている

国立特別支援教育総合研究所
久保山 茂樹



障害のある子どもや保護者は、いつもみんなより
がんばるのか？



周囲の「善意」
= 「がんばれの大合唱」で
包んでいないだろうか？

子どもが、いま持っている力 を発揮できるように

☆お座りがむずかしいAちゃん → 訓練 → ？

- ・Aちゃんと、いま、ブランコで遊びたいお母さん
- ・私たちにできることは訓練だけか？



☆お話がむずかしいBちゃん → 訓練 → ？

- ・「あっぱー！」と身振りだけで堂々と表現！
- ・1語あれば、通じるよね！

能力を身につけるために遊ぶのではない
手持ちの力を十分に発揮した結果として能力が身につく！

「気になること」に 隔れてしまっている
良さ、得意分野、その子が役に立つこと
いま持っている力でできること

を見つけ、ともに楽しむ！

→ いつも、一緒にいるからこそ
忘れてしまうかもしれない



- 子どもへのまなざしが、 評価のまなざし
になっていないか
- できないことが、その子のすべてなのか
- 子どもは、訓練するために生まれてきたのか

障害から見ること、障害から見ないこと

➤ 障害から見る者の視点

= 評価のまなざし

→ あの子をなんとか変えなくちゃ！

➤ とともに生活する者の視点

= 共感のまなざし

→ なるほど！ おもしろい！

→ どうかわろっかな？



どの視点で、
子どもを見たいですか？ かかわりたいですか？

子どもを表す言葉を豊かに！

かかわり手の思いが伝わる表現にしたい

例えば…話しことばの数は多いのに、
通じ合えていない気がするAくん

- ・ADHD とわずに・・・
元気で活発だ アイデアマンだ
- ・自閉症 とわずに・・・
集中力がある もの知りだ
- ・障害児 とわずに・・・
ひと手間かけてあげたいお子さん



保育を変えることで うまくいく環境 を探る

発想の転換！

どうして〇〇できない！ から

〇〇できるのはなぜだろう？ へ

例えば・・・

➤ どうして集中できない！ という発想からは
子どもを責めることしか考えられない

➤ 集中できるのはなぜ？ と考えれば
どうしたらよいかの手立てを思いつく
知恵が出し合える



保育 を基本に、発達障害という 考え方 で工夫を！

- 視力は正常・・・でも
・見えにくいかもしれない ・気になるものがあるかもしれない
- 聴力は正常・・・でも
・聞きにくいかもしれない ・音声では理解できないかもしれない
- 知的発達は年齢相応・・・でも
・刺激に敏感かもしれない ・状況が変わると困るかもしれない

「〇〇かもしれない」と想像して試してみる！

保育者としての経験・ワザが活用できる！

- ・落ち着きのない時どうする？
- ・話し言葉では伝わらない時どうする？
- ・動きが大きい時はどうする？



[ワーク]

ワーク時間 5分

この講義の視点で、いままでの保育を振り返りましょう。
自分の保育に課題があったとしたら、それをどう見直すか考えましょう。周囲の人と話し合ってみましょう。
*個人で行う場合は、空欄に考えを書き出してみましょう。

振り返りシート	受講日	年	月	日
研修を受けて 感じたこと、考えたこと				
チャレンジしたいこと、 改善していきたいこと等 (振り返り予定 月 日)				
振り返りと次の目標 (実施日 月 日)				

気になる子どもの視点から保育を見直す 1

国立特別支援教育総合研究所
久保山 茂樹



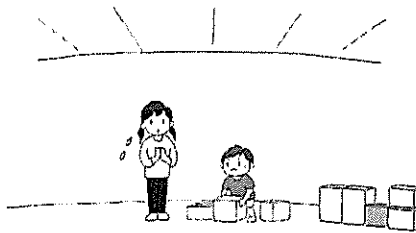
これでも だいじょうぶ へと拡げる

これなら だいじょうぶ が基本

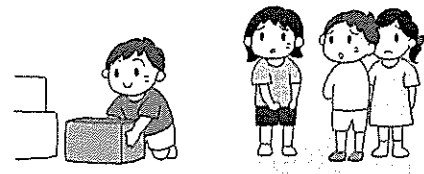
- 時間の区切りのゆるやかさ
- 空間の区切りのゆるやかさ
- 先生との関係のゆるやかさ
- カリキュラムのゆるやかさ



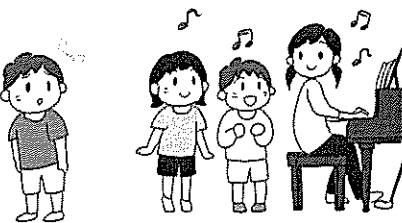
〇〇くんが来ないなら、こちらが行く！



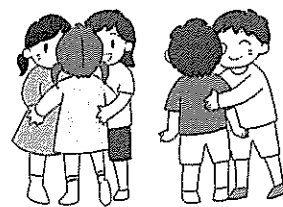
〇〇くんが来ないなら、こちらが行く！



〇〇くんが来ないなら、こちらが行く！



〇〇くんが来ないなら、こちらが行く！



大人（保育者・保護者）の願い
「正しい話し言葉」で「きちんと」
コミュニケーションしてほしい

子どものおもい

「手持ちの表現」の全てを受けとめてほしい
・発音が不明瞭でも、幼い表現でも…
言いたいこと、表現したいことがある
聞いてほしいことがある

子どもと つながる ことば を使おう！

◆音声のことば 【音・音声で つながる】
→ 泣き声 叫び声 喃語 → 音声言語

◆視覚のことば 【見ることで つながる】
→ 実物 写真 絵 → 文字
(適切に使うと有効)

◆動作のことば 【身体の表現 つながる】
→ 触れる 揺さぶる 表情 身体表現
(コミュニケーションの基礎)

- ・子どものいろいろな ことば を受けとめる
- ・子どもが安心できる ことば を使う

[ワーク]

令和X年 Y月 Z日(月) <ぼやま しげき くん 4才0か月 男>女 のぞみ 組 ワークシート

ワーク時間 10分

準備
ワークシート1人1枚

<p>【誰での様子】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鉄道が大好き 鉄道のことならなんでも知っている ・好きなことには集中して楽しめる ・相手の反応を気にせず一方的にしゃべる ・運動が苦手や 物にクラスで候補をする時は、いつの間にかいなくなる ・気に入らないと保育室から出ていく 	<p>【保護者の思い】</p>
<p>【先生への悩み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鉄道だけで良いの？ ・協調性(みんなと一緒に)を育てる必要は？ 	<p>【こどもの立場に立って考えると】</p>
<p>【先生としての気がかりなこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・知的には高いものがあるが、マイペース過ぎる ・友だち関係が育っていない 	<p>【どんな工夫や取り組みがありそうか？】</p>
<p>【どんなふうにごっこしてもらいたいか】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・もっと、自信を持って遊ばしてほしい ・しげきちゃんの良さを認めたい ・友だちの思い(一方的に話しかけられると困ってしまう)を知ってほしい 	<p>【計画:とりあえず明日何をしようか？】</p>

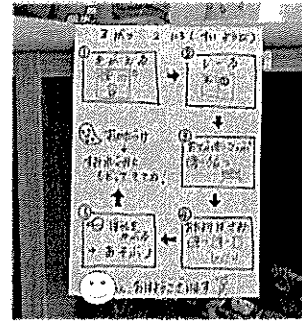
東京都立こども大学附属幼稚園、次修山政昭(2011)

振り返りシート	受講日	年	月	日
研修を受けて 感じたこと、考えたこと				
チャレンジしたいこと、 改善していきたいこと等 (振り返り予定 月 日)				
振り返りと次の目標 (実施日 月 日)				

3.障害児保育

SH2.気になる子どもの視点から保育を見直す
SH2-6

〇〇君用の「きょうのよてい」 これで安心!



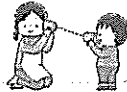
気になる子どもの視点から保育を見直す2

国立特別支援教育総合研究所
久保山 茂樹



あの子と私の 安心できるつながり を作ろう

- いま 持っている力 で、宝物をさがそう
 - ・自分が楽しめること、のめりこむこと
 - ・誰かの役に立つこと.....
- となりに並んで、あなたを見ているよ
 - ・できるーできない、Oorx? ではなく
 - ・好きだなあ! おもしろいなあ!.....
- できない自分も、
SOSも、出していいよ



「ならば」関係=子どもとつながる基本

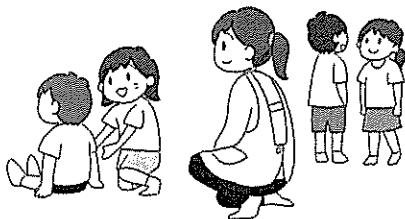


- 【ならば関係】
- ・同じものを並んで眺める
 - ・気持ちが通じやすい
 - ・同じ次元で楽しむ
 - ・対等な関係



- 【向き合う関係】
- ・視線が合う
 - ・表情がわかる
 - ・一方が、他方を引っ張る
 - ・対等ではない場合もある

子ども同士の関係のめばえ



クラスの仲間・・・保育者の喜動が子どもに移(映)っていく
保育者が見守ることで、自ら動く子ども

あの子とまわりの子どもの つながり を作ろう

〇〇ちゃんの理解者 そして 共生社会の担い手へ

- 保育者・教師の喜動が子どもに移(映)る
 - ・大人が気になる〇〇ちゃんは、まわりの子どもも
気になっている かかわりたいと思っている
- クラスの大切な「なかま」という時間
 - ・クラスから出ていく子をどう受け入れるか
 - ・その子が戻ってきたいと思う雰囲気作り
- 子どもの あこがれ の気持ちを育む
 - ・得意分野、役に立つことを活かす
 - ・「あの子」もあこがれの対象

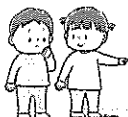


一人ひとり、ちがうことを大切にしたい

「みんな同じだ」と思っていると、
ちょっとした「ちがい」が気になる
だから、人間関係が悪くなる つながりが切れる
でも、

「みんなちがうんだ」と思っていれば、
「同じ」を見つけるよるこびがある
「あっ同じだ!」と思える
そして、その人とつながり合える

故大石益男先生の教えから



【ワーク】

ワーク時間 15分

準備
前の講座で使用した
ワークシート1人1枚
※個人で行う場合は、
書き出しながら考えて
みましょう

令和X年 Y月 Z日(月) <ばやま しげき くん 4才0か月> ♀女 のぞみ 組

<p>【園での様子】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鉄道が大好き 鉄道のことはなんでも知っている ・好きなことには集中して楽しめる ・相手の反応を気にせず一方的にしゃべる ・運動が苦手で 特にクラスで競争をする時は、いつの間にかいなくなる ・気に入らないうと保育室から出ていく 	<p>【保護者の思い】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・すぐしてみんなと 同じになってほしい ・鉄道の話はもちろん だけれどもわりについて
<p>【先生の悩み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鉄道だけで良いの? ・協調性(みんなと一緒に)を育てる必要は? 	<p>【子どもの立場に立って考えると】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・否手分野を隠すためにマイペースかも ・鉄道で勝負したいのでは?
<p>【先生としての気がかりなこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・知的には高いものがあるそうだが、マイペース過ぎる ・友だち関係が育っていない 	<p>【どんな工夫や取り組みがありそうか】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・否手分野は他児に見えないところで、こっそりと練習させてみる ・私(保育者)も鉄道の勉強してみる ・友だちとのかかわりの見本を示してみる
<p>【どんなふうに過ごしてもらいたいのか】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・もっと、自信を持って遊んでほしい ・しげきちゃんの良さを認めたい ・友だちの思い(一方的に話しかけられると困ってしまう)を知ってほしい 	<p>【計画:とらええず明日何をしようか?】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・京急や横須賀線の話をしてみよう ・否手分野について、ちょっと相談しよう

振り返りシート	受講日	年	月	日
研修を受けて 感じたこと、考えたこと				
チャレンジしたいこと、 改善していきたいこと等 (振り返り予定 月 日)				
振り返りと次の目標 (実施日 月 日)				

子ども一人一人の特性を理解した関わり1 -友達に手を出してしまう子-

八戸学院大学短期大学部
差波 直樹



1. Aさんの姿を捉える

Aさんは、年中で入園してきたお子さんです。
特別な支援を必要とするお子さんでした。
特徴的な姿は、
好きな遊びを見つけ、遊びを楽しむことができる
体を動かすことが得意で、全身をダイナミックに動かす
といった良いところと、反面、課題としては…

1. Aさんの姿を捉える

それを、保育者や友達に咎められると、怒ったり、
衝動的に叩いてきたりします。



2. 保育者としての葛藤

保育者は、トラブルメーカーになってしまうAさんの
そうした行動を、なんとか阻止しようと力を注ぎます。
それは、例えるならば、「監視」する役割でしょうか？

Aさんの『意欲的に遊ぶことができる』という良さを
支えたいと思いつつ、監視することに終始してしまっ
ている実際の関わりに、保育者として葛藤していました。

友達に手を出してしまうAさん

1. Aさんの姿を捉える

ほしいものを独占する 衝動的・無意識に友達を叩いてしまう？

2. 保育者としての葛藤

3. 困っている人は誰？

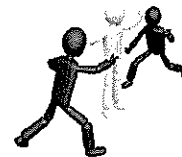
1. Aさんの姿を捉える

自分の好きなことをするために、おもちゃや遊具など
を独り占めしてしまいます。



1. Aさんの姿を捉える

そのため、遊びの中で周囲の幼児とトラブルになる
ことが多く、保育者が仲立ちする関わりが主になって
いきました。



[ワーク] 私のクラスの、「手を出してしまうお子さん」

準備
A4用紙1人1枚

ワーク時間
グループの場合 10分
個人の場合 7分

- ①ご自身のクラスや、これまで出会ってきたお子さんの中に、
友達に手を出してしまうお子さんがいなかったでしょうか。
そのお子さんについて、特徴や、その時どのように関わったかを
書き出してみましょう。
- ②書き出したものをもとに、隣の先生と紹介しあってください。
お互いに気づいたことがあれば伝え合いながら、それも書き留めて
おきましょう。

*個人で行う場合は、①のみ行う。

3. 困っている人は誰？

ある研修会での問いかけ…

日常の保育場面で、「困っている人は誰でしょうか？」

保育者だけでしょうか？

子どもたちも、実は困っているの

ではないでしょうか？



3. 困っている人は誰？

つい衝動的に叩いてしまって、友達に怒られたり、保育者に咎められたりするAさんこそ、困っているのではないのでしょうか？

そうせざるを得ない、あるいは、その行動のもとにあるAさんの思いは、どのようなものでしょうか。

3. 困っている人は誰？

あるお母さんの一言です。

「Aさんは、うちの子(娘)のことが、好きなんですネ。」

その一言に、保育者として衝撃を受けました。

この捉えは、可能性としてあるのでしょうか？

3. 困っている人は誰？

先ほどの、ワークで書き出してくださったお子さんたちの行動に、理由があるとすれば、それはどのようなことが考えられるのでしょうか？

→ 私たち保育者は、その理由を、お子さんたちの思いを探りながら考え出すこと、捉えていくことが得意です。

まとめ

- ・「評価的な見方」をもちつつも「共感的な見方」を基本にして 子どもを捉える。

友達を叩いてしまったり、衝動的だったりという特性はあるけれども、「〇〇ちゃんに関わりたい、〇〇ちゃんが好き」という思いも、Aさんはもっているかもしれない。

→このように捉えると、「監視する」こと以外の保育者の関わりが導き出せるのではないのでしょうか。

(「気になる子の視点から保育を見直す！」2015年 久保山茂樹 より、下線部分を引用。)

まとめ

- ・子どもたちの行動には、必ず理由があります。

私たち保育者は、その行動の理由を、共感的に思い続ける必要があります。

100点の正解を導き出すことはできないかもしれませんが、しかし、思い続け、同僚の先生方とその思いを語り合い確かめ合うことを通して、正解に近づいていくことは可能だと考えます。

保育者の基本的姿勢として、もち続けていきましょう！

振り返りシート	受講日	年	月	日
研修を受けて 感じたこと、考えなこと				
チャレンジしたいこと、 改善していきたいこと等 (振り返り予定 月 日)				
振り返りと次の目標 (実施日 月 日)				

3.障害児保育

SH3.障害児の発達への援助

SH3-2

子ども一人一人の特性を理解した関わり2 -人との関わりに課題のある子-

※資料からは写真が掲載されている
スライドを抜いています。

八戸学院大学短期大学部
差波 直樹



人との関わりに課題のあるお子さんへの支援

1. Bさんは、こんなお子さんでした。
2. 保育者の関わり
3. 自閉症スペクトラム障害の理解
4. 人と関わることによって育つ

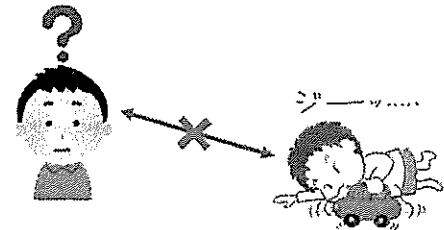
1. Bさんは、こんなお子さんでした。

幼稚園の年少3歳児に入園してきたBさんです。
特別な支援を必要とするお子さんとして、入園して
きました。

いくつか、特徴的な姿がありました。

1. Bさんは、こんなお子さんでした。

保育者と視線が合いづらいです。



1. Bさんは、こんなお子さんでした。

意味のある言葉は、まだ話すことができませんでした。



「ハイハイ、タダ
ダ」などといった
音は、出すことが
できました。

1. Bさんは、こんなお子さんでした。

衣服の着脱や排泄、食事などの生活習慣面は自立して
おらず、保育者の援助を必要とします。



1. Bさんは、こんなお子さんでした。

こうした特性があったBさんです。

当時は診断名がありませんでしたが、自閉症スペクト
ラム障害の特性をもっていたお子さんです。

→Bさんの特性を踏まえながら、保育者として次のような
関わりをしていきました。

2. 保育者の関わり

生活習慣面の支援は、「できるように」ということ
よりも、「保育者と一緒にする」ことに重きを置いて
関わるよう心がけました。

自立を目指しながらも、「依存」（保育者に助けて
もらいながら）することも、十分保証するイメージです。

2. 保育者の関わり

○幼児期は、次第に自分でやりたいという意識が強くなる一方で、信頼できる保護者や教師などの大人にまだ依存していたいという気持ちも強く残っている時期である。
→大人への依存を基盤としつつ自立へ向かう時期である。

(「幼稚園教育要領解説」2018年 文部科学省 P15~16)

[ワーク] 子どもたちの特性に応じた支援

準備

A4用紙1人1枚

ワーク時間	10分
グループの場合	7分
個人の場合	

進め方

先生方がこれまで出会ってきたお子さんとその関わりにおいて、「こんな支援をしてみたら、子どもの姿が変わっていった」などといったエピソードを出し合ひましょう。
(*個人で行う場合は、エピソードを書き出しましょう。)
そのエピソードで、ポイントとなる関わり方など、気づいたことをA4用紙に書き留めましょう。

3. 自閉症スペクトラム障害の理解

Bさんも、その特徴と照らし合わせると、かなり重なると言えるでしょう。

ですが、「困難さ」はあっても、「他者との社会的関係の形成」をしない、できない、わけではありません。

Bさんなりに、保育者を信頼し、保育者との関わりに安心感をもつことができていたのではないのでしょうか。

4. 人と関わることによって育つ

先生方が、これまでされてきた関わりに、苦心しながら関わり、子どもたちの育ちを支えてきたその営みこそ、たくさんのヒントがあるはずです。

演習で語り合う中から、そうしたヒントが得られたのではないのでしょうか。

2. 保育者の関わり

- ・お弁当を、保育者と一緒に、テーブルについて食べようとする。
 - ・降園するタイミングを理解し、保育者と一緒に帰りの身支度をする。
 - ・靴を履く際に、かかとを自ら押し下げる。
- いずれもスモールステップで！

3. 自閉症スペクトラム障害の理解

自閉症スペクトラム障害は、発達障害の一つとして捉えられています。その特徴として、

- ①他人との社会的関係の形成の困難さ
 - ②言葉の発達の遅れ
 - ③興味や関心が狭く特定のものにこだわること
- などが挙げられます。

(「障害児保育 障害のある子どもから考える教育・保育」2018年 久保山茂樹・小田豊編)

3. 自閉症スペクトラム障害の理解

障害種の特徴を理解することは求められます。

ただもう一つ、障害の有無に関わらず子どもたちは育っていく、ということをも十分踏まえておくことも重要です。

一人一人のお子さんの育ちを願い、保育者によってカスタマイズされた関わりによって、その子なりに、発達のステップを踏みしめて育っていくと考えます。

4. 人と関わることによって育つ

ブロンフェンブレンナーは…

人間の発達には、

- ・ 多様な役割を占めている人々との相互作用を通して促進される。

門脇厚司は…子どもの社会力の育成について

- ・ 他者との相互行為が何より大事であり、地域社会の教育力が最も適している。

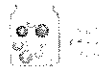
(「人間発達の生類学 発達心理学への挑戦」1996年 U.ブロンフェンブレンナー、「子どもの社会力」1999年 門脇厚司)

4. 人と関わることによって育つ
Bさんとの再会のエピソードから…

振り返りシート	受講日	年	月	日
研修を受けて 感じたこと、考えたこと				
チャレンジしたいこと、 改善していきたいこと等 (振り返り予定 月 日)				
振り返りと次の目標 (実施日 月 日)				

子ども一人一人の特性を理解した関わり3 -こだわりの強い子-

八戸学院大学短期大学部
差波 直樹



1. 「もう一回、やり直し！」

Cさんは、2年保育年中クラスに入園してきたお子さんです。

自閉症スペクトラム障害と注意欠陥多動性障害(ADHD)と、それぞれの特性を併せもつお子さんです。

保育者は、学級担任として、Cさんに関わりました。

© 2017 八戸学院大学

みんなと一緒にすることにこだわるCさん

1. 「もう一回、やり直し！」

2. 保育者の迷い

誰の思いを優先させるべきか？

3. クラスの幼児の思い

© 2017 八戸学院大学

1. 「もう一回、やり直し！」

1. 「もう一回、やり直し！」

Cさんは、遊ぶことがとても好きで、ままごとや砂遊び、体を動かす遊びなど、様々な遊びを保育者と一緒に楽しむことができます。



© 2017 八戸学院大学

1. 「もう一回、やり直し！」

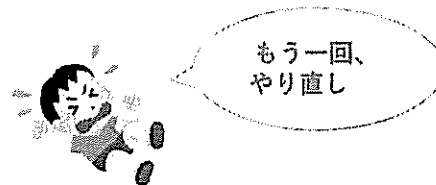
遊んでいるときは、集中して、じっくりと楽しむ様子が見られます。一方で、遊びに集中するため、片付け時に気持ちの切り替えが難しく、次の活動にスムーズに移っていけない姿も見られました。



© 2017 八戸学院大学

1. 「もう一回、やり直し！」

そして、少し遅れて学級にCさんが戻ってきた時に、クラスのみんなが担任と一緒に手遊びなどを始めていると…。



© 2017 八戸学院大学

1. 「もう一回、やり直し！」

そして、そのパニックが高じていくと、頭を床に強く打ち付けます。



© 2017 八戸学院大学

1. 「もう一回、やり直し！」

あまりに強く打ち付けるので、その衝撃を目の当たりにすると、保育者も頭がクラクラする感覚を覚えました。

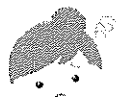


© 2017 八戸学院大学

2. 保育者の迷い

ここで、保育者はCさんとの関わりに悩みます。

Cさんの思いを受容し尊重していこう、という思いと、Cさんなりに園生活のルールを理解してほしいという思いとで揺れ動きます。



2. 保育者の迷い

園生活のルールを、Cさんなりに理解してほしい。

→時には、「もう一回、やり直し!」の言葉を無視するように、活動を進めると…。



2. 保育者の迷い

Cさんの思いを尊重し、もう一回やり直して活動を展開する。

すると、新たな葛藤が…。

クラスの、他の子どもたちは、どう感じているのかな?



他の先生たちに、「指導力のない保育者」だと思われていないだろうか?

© 2018 KOBUN SHUPPAN

2. 保育者の迷い

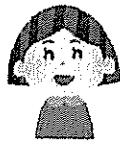
Cさんが床に頭を打ちつけるたびに、保育者の頭もクラクラとし、ただただ悩むだけで、なかなか前向きな気持ちを持ってない日々を過ごしていました。

そんなある日の出来事です。

3. クラスの幼児の思い

いつもと同じように学級活動を始めようとする、私の目の前に座っていた子が、「先生、Cさんまだ来てないよ。」と、つぶやきました。

その子の思いは、どこにあるのでしょうか?



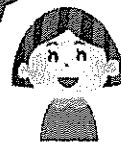
Cさん、まだ来てないよ。

© 2018 KOBUN SHUPPAN

3. クラスの幼児の思い

Cさんが来ていないのに活動を始めると、Cさんが悲しい気持ちになってしまうよ。

私は、待ってあげても平気だよ。



いずれも、保育者の勝手な意識ですが…。心の底から救われた思いでした!

© 2018 KOBUN SHUPPAN

3. クラスの幼児の思い

Cさんのことを思い、また、Cさんの思いに寄り添おうとしていたのは、保育者だけではなかったようです。

クラスの子どもたちも、もしかすると、保育者と同じようにCさんを思いやってくれていたのではないのでしょうか。

© 2018 KOBUN SHUPPAN

3. クラスの幼児の思い

佐伯は、「すべての人一生まれてすぐの乳児から、終末期を迎える老人まで一は、誰かをケアしないではいられない存在である」と主張します。

このクラスの子どもたちの姿からも、そう感じずにはいられません。

(「子どもがケアする世界」をケアする 保育における「二人称的アプローチ」入門) 2017年 佐伯胖)

© 2018 KOBUN SHUPPAN

3. クラスの幼児の思い

また、障害のあるお子さんとの関わりにおいては、クラスの子どもたちとの関係性も大きく影響するのではないのでしょうか。

共に育ちあう関係性をどう紡ぎ出していくか、そのための保育者の役割とはどのようなものか、考え続けていく必要があります！

[ワーク] 学級担任として留意したいこと

ワーク時間 グループの場合 10分 個人の場合 7分

準備
A4用紙1人1枚

①障害のある子もそうでない子も、お互いにクラスの仲間として育っていくために、先生方が工夫されていることをできる限り書き出してみましょう。

②書き終わったら、隣の先生と紙を交換し、見合ってみましょう。お互いに聞きたいことがあったら、おしゃべりをしながら聞いてみましょう。

*個人で行う場合は、①のみ行う。

ワークの解説

・普段、何気なく意識している子どもたちへの関わりは、他の保育者にとっては「私には無い」新鮮な気づきをもたらすことがあります。

保育者としてのアンテナは、一人一人、似ているようでそこでキャッチするものは違います。

それらを、この演習を通して感じていただければ幸いです。

振り返りシート	受付日	年	月	日
研修を受けて 感じたこと、考えたこと				
チャレンジしたいこと、 改善していきたいこと等 (振り返り予定 月 日)				
振り返りと次の目標 (実施日 月 日)				

子ども一人一人の特性を理解する
- 保育者間の連携 -

八戸学院大学短期大学部
差波 直樹



※資料から削除している写真があります。

1. 適切な支援を見出すために

Dさんは、年少3歳児に入園してきたお子さんです。特別な支援を必要とするお子さんで、自閉症スペクトラム障害のお子さんです。

入園当初から、担当保育者と一緒に過ごすことを通して、少しずつですが、登園→所持品の始末→遊ぶ→学級活動→お弁当→降園といった生活の流れの中で、過ごすことができるようになっていきました。

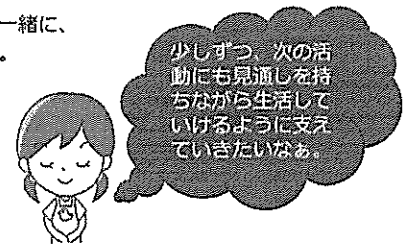
伝え合い、語り合うことで深まる幼児理解

1. 適切な支援を見出すために
視覚支援が有効なDさんへの支援
2. 伝え合い、語り合うことで何が生まれるか？
3. 保育者間の連携の先にあるもの

1. 適切な支援を見出すために

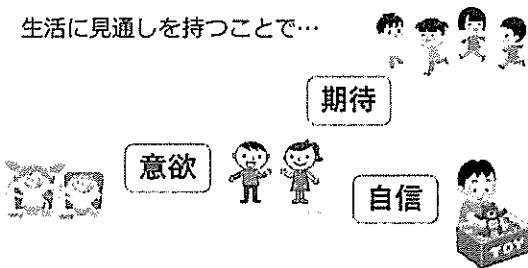
一つ一つを、保育者と一緒に、その都度行っています。

次に保育者が願ったことは、このようなことでした。



1. 適切な支援を見出すために

生活に見通しを持つことで…



1. 適切な支援を見出すために

そのための手立てとして～「絵カード・写真」の活用

- ・自閉傾向のお子さんには視覚支援が、とにかく有効!!
- ・このカードを示したり、スケジュールとして、保育室に掲示しておくことで、Dさんなりに生活の流れを理解していきました。

[ワーク]
Dさんへの支援として、考えられる支援はどのようなものでしょうか？

準備

2～4名のグループを作りましょう。

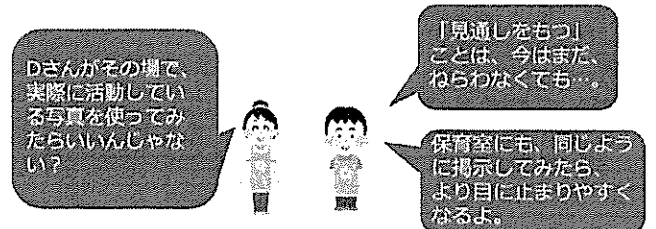
進め方

- ①上記のテーマで、各々思いついた、また考えた支援の方法などについて、口頭で出し合ひましょう。
*個人で行う場合は、考えを書き出しましょう。
- ②お互いに関き合いながら、質問があればその都度尋ねましょう。
- ③ルールは一つです。話し合いの中で、相手の考えを「否定しないこと」です。

ワーク時間	
グループの場合	10分
個人の場合	7分

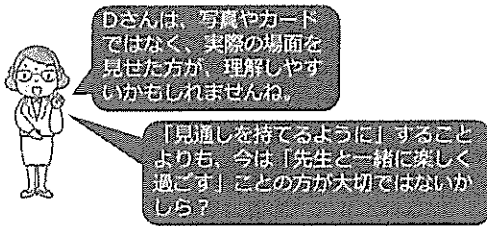
1. 適切な支援を見出すために

他の保育者と、Dさんの姿や保育者のしていることについて共有し、様々なアドバイスをもらいました。



1. 適切な支援を見出すために

園長からは、こんな一言をいただきました。



1. 適切な支援を見出すために

保育者が自分の支援を省みると…

「Dさんは、自閉傾向があるから、視覚支援が有効だね。」という『評価的な見方』しかできていなかったのではないのでしょうか。

少し、酷な言い方をすると、「絵カード」を使った支援をすることで、保育者として「やっている・支援をしている」という安心感だけは得ていたと思われる。

(参考文献「気になる子の視点から保育を見直す！」2015年久保山茂樹)

2. 伝え合い、語り合うことで何が生まれるか？

それらを、保育者同士で伝え合い、語り合うことで何が生まれるのでしょうか？

2. 伝え合い、語り合うことで何が生まれるか？



1. 適切な支援を見出すために

保育者は、園長のアドバイスを受け、実際に学級活動やお弁当、降園指導の場が整ってから、クラスの子どもたちが揃って活動がいざ始まるという状況になったタイミングで、Dさんと一緒にクラスに戻るようになりました。

すると、Dさんは、「ああ、これからお弁当なのね。」「そろそろママが迎えに来る時間？」といった雰囲気、その次の活動に移っていくようになりました。（←もちろん、このような姿になるまでに、ある程度の期間は要しました。）

2. 伝え合い、語り合うことで何が生まれるか？

保育者は、日々の生活や遊びの中で出会う子どもたちの姿から、様々なことを捉えようとしています。

それは一人一人の発達段階であったり、そのお子さんの興味や関心であったり、その時のその子の切なる思いであったり、と様々です。

その捉えようとする姿勢こそ、「能動的に思う」保育者の姿ではないでしょうか。常に頭をフル回転させながら、上記のことを保育者は能動的に思っています。

2. 伝え合い、語り合うことで何が生まれるか？



2. 伝え合い、語り合うことで何が生まれるか？

Dさんの事例でも、保育者同士、また園長も交えて、そうした伝え合いや語り合いができていたと考えます。

また、何よりも大切なことは、そうした伝え合い・語り合いが可能な、日頃からの人間関係の構築です。

2. 伝え合い、語り合うことで何が生まれるか？

また、何となく、保育者として「できること」ばかりが求められますが、こうして伝え合っていると、自分の「できないこと」とも向き合うことが可能です。

だからこそ、互いに助け合うことができるのではないのでしょうか。気持ちの面だけでなく、物理的にも、「できないことは助けてもらう」というスタンスを園全体で持つことが可能になるでしょう。

まとめ

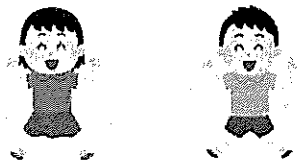
特別な支援を必要とするお子さんへの支援は、一人一人の育ちや、今の姿に合わせ、カスタマイズされたものであるはずですが、

保育者間の連携によって、その支援が、よりピンポイントに、よりその子の思いに寄り添ったもので、次の育ちにしっかりとつながっていく、ものになるはずですが、

つまり、最終的には…

保育者間の連携の先にあるもの

子どもたちの確かな育ちにつながっていきます！
 全ては、「子どもたちの育ちのために」ではないでしょうか。



振り返りシート	受講日	年	月	日
研修を受けて 感じたこと、考えたこと				
チャレンジしたいこと、 改善していききたいこと等 (振り返り予定 月 日)				
振り返りと次の目標 (実施日 月 日)				

子ども一人一人の特性に応じた支援
-保護者との連携-

八戸学院大学短期大学部
差波 直樹



1. 保護者と向き合うスタンスをどうするか？

・若手保育者の頃は、「保育者」という専門知識で保護者さんと向き合っていました。子育てについての悩みなどを相談されると…、

しっかりと答えなければ、という使命感もあったかもしれませんが…



それはですね、(保育者としての見地からは) ころころ、ころころだと思えますよ (エヘン!)。ころころしたいんですよ (どうですか!)

保護者と連携しながら、子どもを支えるために

1. 保護者と向き合うスタンスをどうするか？
2. 保護者とともに作る個別の支援計画
3. 保護者を支えるために

1. 保護者と向き合うスタンスをどうするか？

・その結果、保護者さんにズバリと言われてしまったのです。



先生と、私との間には、壁がありますよね!!

1. 保護者と向き合うスタンスをどうするか？

・何がいけなかったのでしょうか？
保護者さんは、悩んではいますが、明確な答えは求めていなかったのかもしれない。

その後は、答えを出すことに力を注ぐのではなく、「一緒に考えていきましょう!」というスタンスに変えていきました。
→こちらの方が、保護者の安心感は高かったように思います。

1. 保護者と向き合うスタンスをどうするか？

・何がいけなかったのでしょうか？

もう一つは、意識のズレでしょうか。

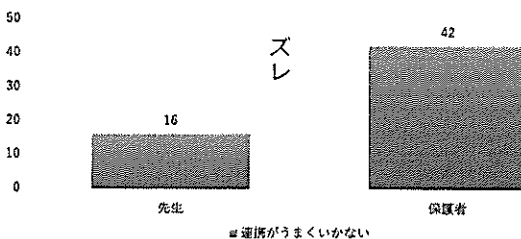
ズレ

保育者は、幼児教育・保育のプロです!

私は、この子のプロです!
私の話も聞いてください!



1. 保護者と向き合うスタンスをどうするか？



「子どものありのままの姿を保護者とどうわかりあうか」2014年 久保山茂樹

1. 保護者と向き合うスタンスをどうするか？

・「親としての歴史」や「私自身の歴史」があって今の私がある。それを知った上で私とかかわってほしい。子どもの話の前に。

筆者(久保山)が聞くことに徹してさえいれば、保護者は「保護者の歴史」を次つぎと語るという経験してきました。それくらい、「保護者の歴史」を聞いてほしいのだと思います。



この積み重ねが、保護者との信頼関係の構築につながるのではないだろうか

「子どものありのままの姿を保護者とどうわかりあうか」2014年 久保山茂樹

2. 保護者とともに作る個別の支援計画

- ・その上で、保育者としてすべきことは、どのようなことでしょうか？

<障害のある子どもの保育について>

(前略) また、子どもの状況に応じた保育を実施する観点から、家庭や関係機関と連携した支援のための計画を個別に作成するなど適切な対応を図ること。

(保育所保育指針第1章総則 3 保育の計画及び評価 (2) 指導計画の作成のキ より引用)

2. 保護者とともに作る個別の支援計画

- ・一緒に考える、作る、話すことで生まれること

この過程の中で、保護者は、保育者に自分の思いを聞いてもらいながら、「自分がどう認識しているか」「自分をどう認識しているか」(=自己知覚)ということについて体感的に得ていきます。

この自己知覚と行動には関係があるとされています。

「Some observations on the organization of personality.」
1947年 Rogers,C.R.



2. 保護者とともに作る個別の支援計画

- ・保護者と連携して個別の支援計画を作る？

前段で述べてきたように、「一緒に考えましょう！」というスタンスです。

もちろん、支援計画の体裁としては、保育者が作っていきます。



2. 保護者とともに作る個別の支援計画

- ・一緒に考える、作る、話すことで生まれること

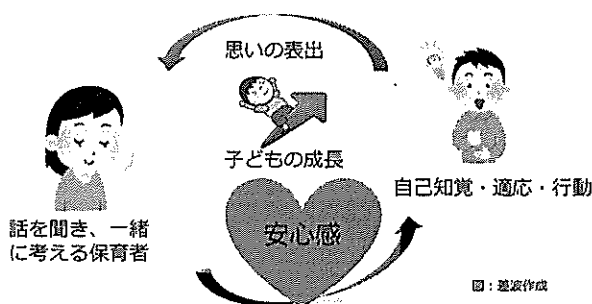
「自分がこう認識している」と気づき、たとえそのことが認めたくない自分であったとしても、そのことを自分自身で受け入れられた時、次に適応するための行動に移っていくことが可能になります。

→つまり、支援の方向性を一致させつつ、具体的な関わりにつながっていく、ということです!!

「Some observations on the organization of personality.」
1947年 Rogers,C.R.



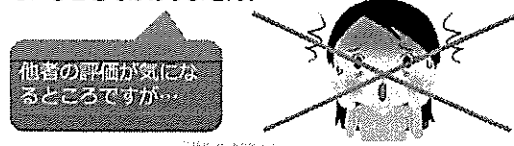
2. 保護者とともに作る個別の支援計画



3. 保護者を支えるために…

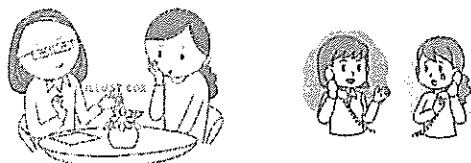
- ・「他者の力」をたのむ・つながる
自力では、どうにもならない・できないこともあることを、十分踏まえておきましょう。

そして、そのことは決して「保育者としての資質が低い」ために起こっていることではありません。



3. 保護者を支えるために…

- ・「他力」をたのむ・つながる
園内では…
同僚や先輩、主任の先生や園長先生が助けてくれるはずです。これらに加えて、外部機関も私たちの力になってくれます。



3. 保護者を支えるために…

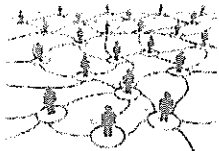
- ・「他力」をたのむ・つながる
お子さんや保護者さんへの個別の支援の必要性の有無に関わらず、「保育者としてつながる」という意識も必要です。

ex.区市町村子ども支援センター、特別支援学校巡回相談員、児童相談所、児童デイサービス、小学校 など、いつでも連絡を取れるような関係作りができていでしょうか。

知り合っているだけで、保育者としての「強み」になるはずですよ。

3. 保護者を支えるために…

- ・「他力」をたのむ・つながる
はじめの一步は…
これらのうち、どこか一つとしっかりと連携をとること、
ではないでしょうか。
その連携が新たな連携を生み、自然発生的に繋がっていきます。



この連携を、園長先生や主任の先生に任せる時代は終わりました。

3. 保護者を支えるために…

- ・「他力」をたのむ・つながる
「他力」をたのむことで、保育者としての自分自身に「余裕」をもたせたいですね。
この「余裕」が保護者を支え、その先にいる子どもたちを育てることに繋がると考えます!!

全ては、子どもの育ちのために！

[ワーク] 「保護者との連携」について語り合おう

準備
2人ずつペアを作りましょう

ワーク時間
グループの場合 10分
個人の場合 7分

- 進め方
- ① 「保護者との連携」について、自分が留意していること、考えていること、困っていること、悩んでいることなどについて、自由に語り合しましょう。
*個人で行う場合は、書き出しましょう。
 - ② お互いに、話を聞きながら、気づいたことや考えたことなどを伝え合いながらおしゃべりをしてください。
 - ③ このワークのフィードバックはしません。

振り返りシート	受付日	年	月	日
研修を受けて 感じたこと、考えたこと				
チャレンジしたいこと、 改善していきたいこと等 (振り返り予定 月 日)				
振り返りと次の目標 (実施日 月 日)				

特別な支援を必要とする子どもへの援助 -環境や教材の工夫-

八戸学院大学短期大学部
差波 直樹



子どもたち一人一人が、安心して過ごすために

1. クラス全体の環境を構成する
2. 子どもたちの姿を思い、教材を工夫する
- 3.ワーク 私のヒット作～支援のための教材いろいろ

1. クラス全体の環境を構成する

年少3歳児のクラスでは、自由に遊ぶ時間が終わり、片付けも済んだ後、クラスに集まって踊りを楽しむ活動が始まりました。

ですが、Eさんはその踊りの輪には加わらず、保育室の狭いロッカーのスペースで一人ブロックで遊んでいます。

ちょうど、踊りが終わるタイミングで、Eさんはブロックを自分で片付けて、次の活動に移っていききました。



1. クラス全体の環境を構成する

Eさんの様子を見て、こんなことを感じました。

▶お部屋から出て行かないってことは、このお部屋にいることは好きなんだな。
→先生との関わりで、安心して過ごしているんだなあ。

▶踊りは、ちょっと苦手なのかな？ちょうど曲が終わるタイミングで片付けるってすごいなあ。
→自分で考えて、「踊りはしないけど、ここにはいるよ。」って決めているのかな？



1. クラス全体の環境を構成する

クラスの先生には、こんなアドバイスをしました。

▶お部屋の中に、Eさん専用の「ここでなら、安心して過ごせる・参加できない活動の時にはここで過ごす」場所を作ってみましょう。段ボールなどの囲いとか、Eさんの好きな遊具とかがあると、より良いです。

→Eさんにとっても、クラスの仲間にとっても刺激が少なくなって、お互いに落ち着いて過ごせますよね。



1. クラス全体の環境を構成する

クラスの先生には、こんなアドバイスをしました。

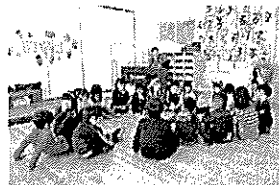
▶Eさんが活動に参加しない・できないということよりも、このスペースなら、Eさんも部屋にいることができると、とらえてみませんか？

→その意識の違いは、Eさんの行動を咎めるか、認めるかという保育者の行動の違いになります。どちらが、Eさんの自信を育むか、一目瞭然ではないでしょうか。



1. クラス全体の環境を構成する

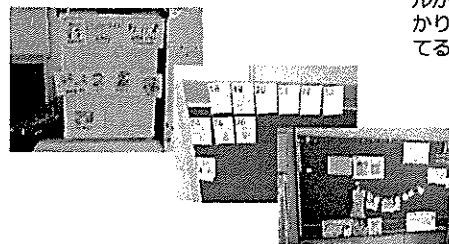
・実際の保育場面から…



落ち着いて過ごせる場所で過ごしながら、活動の様子や友達の様子にも興味を持てるように。

1. クラス全体の環境を構成する

・実際の保育場面から…



1日のスケジュールが、目で見てわかり、見通しを持てるように。

1週間の流れも同様に。その長さなども、目で見て、感覚的に理解できるように。

1. クラス全体の環境を構成する

- ・こうした環境構成は、「特別な支援を必要とするお子さん」の育ちのためでもあります。実は、クラスの他の子どもたちもそれによって同じように育っていく、ということも言えないでしょうか。

障害のあるなしに関わらず、子どもたちの育ちを願った保育者による環境構成によって、それぞれの発達段階に応じた育ちが得られると考えます。

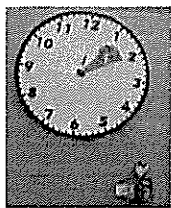
2. 子どもたちの姿を思い、教材を工夫する

- ・環境とともに、教材についても工夫が必要です。
一人一人のお子さんの姿や、そのお子さんの育ちを願う保育者によって、様々な教材が生まれます。

保育者の皆さんは、こうしたアイデアを次々に編み出しているのではないのでしょうか？

2. 子どもたちの姿を思い、教材を工夫する

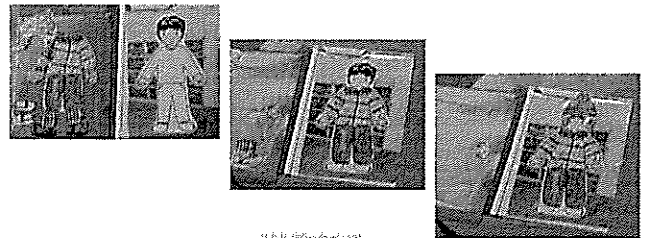
- ・教材の実際～時間の感覚がわかるために



- ・遊びを楽しむことができる残り時間がわかる。
- ・好きなキャラクターがいるから、注目できる。

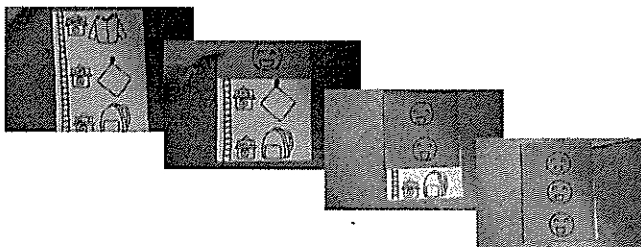
2. 子どもたちの姿を思い、教材を工夫する

- ・教材の実際～身支度を保育者と一緒にしていくために



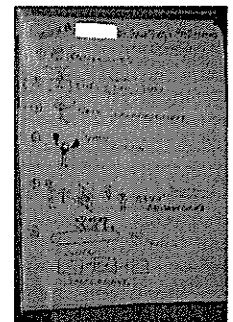
2. 子どもたちの姿を思い、教材を工夫する

- ・教材の実際～身支度の順番を理解するために



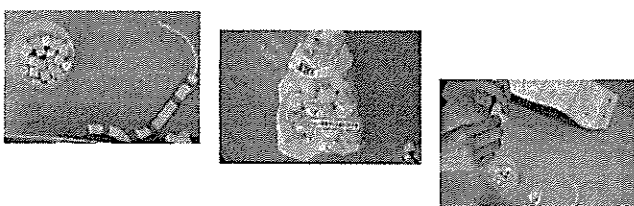
2. 子どもたちの姿を思い、教材を工夫する

- ・教材の実際
～自分で選択して活動に参加する



2. 子どもたちの姿を思い、教材を工夫する

- ・教材の実際～ピンポイントな経験のために



[ワーク] 「私のヒット作～支援のための教材いろいろ」

準備

これまでに使った・作った、支援のための教材の写真や実物を持ち寄ります。無い場合は、説明できるように、心の準備をしておきましょう。

ワーク時間	
グループの場合	10分
個人の場合	5分

進め方

①特別な支援を必要とするお子さんとの関わりの中で、支援のために作った教材や使った教材のうち、ヒット作について伝え合い、自慢し合ひましょう。

*個人で行う場合は、書き出しましょう。

②おしゃべりをしながら、気がついたこと、考えたことなど書き留めておきましょう。

終わりに

・保育者が、日々子どもたちの育ちを願い、工夫していること～環境や教材に限らず～には、大きな価値があるはずです。
→それを、園内で共有しつつ互いに認め合うことで、子どもたちへの支援もより充実していくはずです。

・この乳幼児期に保育者が見出した手立てを、ぜひ、小学校以降の教育へもつなげていきましょう。
→目の前のお子さんや保護者さんだけでなく、小学校の先生方も助けられるはずです。

私たちがしている関わりに、大きな価値があると、自信を持っていきましょう！

振り返りシート	受講日	年	月	日
研修を受けて 感じたこと、考えたこと				
チャレンジしたいこと、 改善していきたいこと等 (振り返り予定 月 日)				
振り返りと次の目標 (実施日 月 日)				

全体的な計画に基づく指導計画

仙台白百合女子大学
三浦 主博



障害児保育の計画

保育所保育指針（H29年改定）

第1章 総則 3 保育の計画及び評価（2）指導計画の作成

キ 障害のある子どもの保育については、一人一人の子どもの発達過程や障害の状態を把握し、適切な環境の下で、障害のある子どもが他の子どもとの生活を通して共に成長できるよう、指導計画の中に位置付けること。また、子どもの状況に応じた保育を実施する観点から、家庭や関係機関と連携した支援のための計画を個別に作成するなど適切な対応を図ること。

保育所保育指針（H29年改定）

第1章 総則 3 保育の計画及び評価

（1）「全体的な計画」の作成

ア 保育所は、1の（2）に示した保育の目標を達成するために、各保育所の保育の方針や目標に基づき、子どもの発達過程を踏まえて、保育の内容が組織的・計画的に構成され、保育所の生活の全体を通して、総合的に展開されるよう、全体的な計画を作成しなければならない。

幼稚園教育要領（H29年改訂）

第1章 総則 第3節 教育課程の役割と編成

6 全体的な計画の作成

各幼稚園においては、教育課程を中心に、第3章に示す教育課程に係る教育時間の終了後等に行う教育活動の計画、学校保健計画、学校安全計画などを関連させ、一体的に教育活動が展開されるよう全体的な計画を作成するものとする。

本講座のねらい

1. 「全体的な計画」について理解する
2. 「全体的な計画」、「各年齢の指導計画」、「個別の指導計画」の関係を理解する

1. 全体的な計画

保育所保育指針（H29年改定）

第1章 総則

3 保育の計画及び評価

（1）「全体的な計画」の作成

← 「保育課程」（H20年改定）

保育所保育指針（H29年改定）

第1章 総則 3 保育の計画及び評価（1）「全体的な計画」の作成

イ 全体的な計画は、子どもや家庭の状況、地域の実態、保育時間などを考慮し、子どもの育ちに関する長期的見通しをもって適切に作成されなければならない。

ウ 全体的な計画は、保育所保育の全体像を包括的に示すものとし、これに基づく指導計画、保健計画、食育計画等を通じて、各保育所が創意工夫して保育できるよう、作成されなければならない。

幼保連携型認定こども園教育・保育要領（H29年改訂）

第1章 総則 1 「教育及び保育の内容並びに子育ての支援等に関する全体的な計画」の作成等

各幼保連携型認定こども園においては、教育基本法、児童福祉法及び認定こども園法その他の法令並びにこの幼保連携型認定こども園教育・保育要領の示すところに従い、教育と保育を一体的に提供するため、創意工夫を生かし、園児の心身の発達と幼保連携型認定こども園、家庭及び地域の実態に即応した適切な教育及び保育の内容並びに子育ての支援等に関する全体的な計画を作成するものとする。

2. 全体的な計画・各年齢の指導計画・個別の指導計画の関係

全体的な計画

保育所の目標を達成するために、保育の内容を包括的・網羅的に示したもの
指導計画、保健計画、食育計画等が含まれる

保育所保育指針（H29年改定）
第1章 総則

3 保育の計画及び評価
(2) 指導計画の作成

長期的・短期的な指導計画
個別の指導計画

保育所保育指針（H29年改定）
第1章 総則 3 保育の計画及び評価

(2) 指導計画の作成

ア 保育所は、全体的な計画に基づき、具体的な保育が適切に展開されるよう、子どもの生活や発達を見通した長期的な指導計画と、それに関連しながら、より具体的な子どもの日々の生活に即した短期的な指導計画を作成しなければならない。

指導計画

各年齢の保育内容を具体的に示したもの

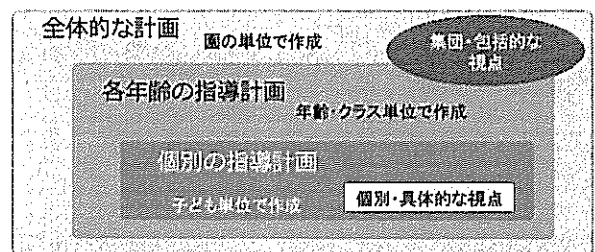
長期的な計画：年間計画、期・季ごとの計画、月間計画（月案）

短期的な計画：週間計画（週案）、日案

個別の指導計画

子ども一人一人に合わせた個別の計画
3歳未満児は、全ての子どもの個別計画を作成
障害児は、入園から卒園まで一貫して個別の計画を作成

(1) 集団・包括的な視点から個別・具体的な視点へ



[ワーク]

「全体的な計画」、「各年齢の指導計画」、「個別の指導計画」の関係について確認しよう。

ワーク時間
グループの場合 12分
個人の場合 7分

準備：勤務先の「全体的な計画」

「各年齢の指導計画」（個別の指導計画の対象児の年齢の計画）
「個別の指導計画」、A4用紙1人1枚

進め方

- ① 勤務先の3つの計画で関連付けられている点を各自書き出しましょう
 - ② 3つの計画を関連付けるために工夫されている点を書き出しましょう
 - ③ ①と②について、共有し、話し合しましょう
- *個人で行う場合は、②まで行う

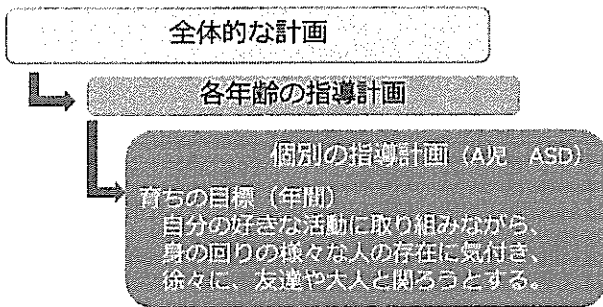
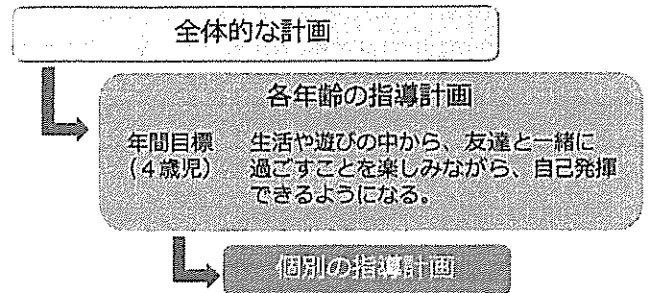
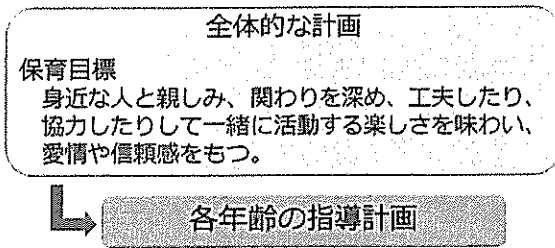
ワークの解説

・「全体的な計画」、「各年齢の指導計画」、「個別の指導計画」の3つの計画は、独立して作成されるものではなく、3つの計画をつなげて、段階を踏んで保育を計画していく視点が大切です。

・これら3つの計画をつなげ、関連付けていくためには、園全体として、どのような工夫が必要なのか、この機会に共有してみてください。

・具体的な目標のつながりの例を次に示します。

(2) 全体的な計画から個別の指導計画への目標の段階性



まとめ

- ・ 保育所（幼稚園、幼保連携型認定こども園）では、保育所の目標を達成するために、保育の内容を包括的・網羅的に示した「全体的な計画」を作成し、そこには指導計画、保健計画、食育計画等が含まれる。
- ・ 指導計画は、各年齢の保育内容を具体的に示したものであり、長期的な計画と短期的な計画がある。
- ・ 個別の指導計画は、子ども一人一人に合わせた個別の計画であり、障害児は、入園から卒園まで一貫して個別の計画を作成する。
- ・ これら3つの計画をつなげて、段階を踏んで保育を計画していく視点が必要である。

振り返りシート	受講日	年	月	日
研修を受けて感じたこと、考えたこと				
チャレンジしたいこと、改善していきたいこと等 (振り返り予定 月 日)				
振り返りと次の目標 (実施日 月 日)				

障害児保育の計画

仙台白百合女子大学
三浦 主博



1. 障害児保育の計画

保育所保育指針（H29年改定）

第1章 総則

3 保育の計画及び評価

（2）指導計画の作成

キ 障害のある子どもの保育…

保育所保育指針解説

【保育所における障害のある子どもの理解と保育の展開】

【個別の指導計画】

【家庭との連携】

【地域や関係機関との連携】

保育所保育指針解説 第1章 3（2）指導計画の作成

キ 障害のある子どもの保育…

【保育所における障害のある子どもの理解と保育の展開】

一人一人の障害や発達上の課題は様々であり、その状態も多様であることから、保育士等は、子どもが発達してきた過程や心身の状態を把握するとともに、保育所の生活の中で考えられる育ちや困難の状態を理解することが大切である。そして、子どもとの関わりにおいては、個に応じた関わりと集団の中の一員としての関わりの両面を大事にしなが、職員相互の連携の下、組織的かつ計画的に保育を展開するよう留意する。

本講座のねらい

1. 保育所保育指針及び同解説に記載されている「障害のある子どもの保育」について理解する
2. 個別の指導計画と個別の支援計画の違いについて理解する

保育所保育指針（H29年改定）

第1章 総則 3 保育の計画及び評価（2）指導計画の作成

キ 障害のある子どもの保育については、一人一人の子どもの発達過程や障害の状態を把握し、適切な環境の下で、障害のある子どもが他の子どもとの生活を通して共に成長できるよう、指導計画の中に位置付けること。また、子どもの状況に応じた保育を実施する観点から、家庭や関係機関と連携した支援のための計画を個別に作成するなど適切な対応を図ること。

保育所保育指針解説 第1章 3（2）指導計画の作成

キ 障害のある子どもの保育…

【保育所における障害のある子どもの理解と保育の展開】

保育所は、全ての子どもが、日々の生活や遊びを通して共に育ち合う場である。そのため、一人一人の子どもが安心して生活できる保育環境となるよう、障害や様々な発達上の課題など、状況に応じて適切に配慮する必要がある。こうした環境の下、子どもたちが共に過ごす経験は、将来的に障害の有無等によって分け隔てられることなく、相互に人格と個性を尊重し合いながら共生する社会の基盤になると考えられる。これらのことを踏まえて、障害など特別な配慮を必要とする子どもの保育を指導計画に位置付けることが求められる。

保育所保育指針解説 第1章 3（2）指導計画の作成

キ 障害のある子どもの保育…

【保育所における障害のある子どもの理解と保育の展開】

- ・障害など特別な配慮を必要とする子どもの保育を指導計画に位置付ける
- ・個に応じた関わりと集団の中の一員としての関わりを両面を大事にする
- ・組織的かつ計画的に保育を展開する

【ワーク】 「個別の指導計画」と「個別の支援計画」の 違いについて考えよう

ワーク時間	
グループの場合	12分
個人の場合	5分

準備：A4用紙やノートなど

進め方

- ① 「個別の指導計画」と「個別の支援計画」の違いについて、各自書き出しましょう
 - ② 書き出した内容について、共有し、話し合しましょう
- * 個人で行う場合、①のみ行う

ワークの解説

- ・ 2つの計画について、両方を別々にしっかりと作成されている圏もあると思います。
- ・ 「個別の指導計画」と「個別の支援計画」は似たような名前のため、「指導」と「支援」の言葉の違いとして捉え、混同されて作成されている場合もあります。
- ・ 次に、「個別の指導計画」と「個別の支援計画」の違いについて、説明していきます。

2. 個別の支援計画と個別の指導計画

(1) 個別の支援計画

個別の支援計画

乳幼児期から学校を卒業後社会に出るまでを見通し、障がいのある子どもを生涯にわたって支援
福祉、教育、医療、労働、地域、家庭をつなげる役割も担う

内閣府（2015）「障害者基本計画（第3次）」

(1) インクルーシブ教育システムの構築

可能な限り早期から成人に至るまで一貫した指導・支援ができるよう、子どもの成長記録や指導内容等に関する情報を、情報の取扱いに留意しながら、必要に応じて関係機関間で共有・活用するとともに、保護者の参画を得つつ、医療、保健、福祉、労働等との連携の下、個別の教育支援計画の策定・活用を促進する。

個別の教育支援計画

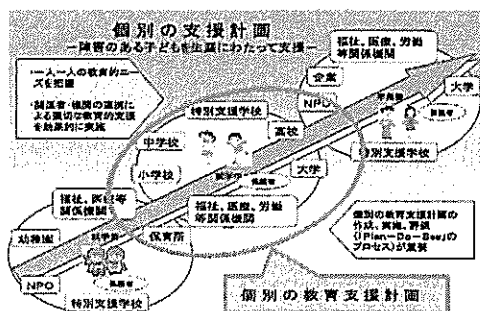
学齢期に学校や教育委員会などの教育機関が中心となって作成する「個別の支援計画」

特別支援学校は、要請に基づいて地域の幼稚園（保育所・認定こども園も同様）や学校の支援を行うことになっています

（学校教育法第74条）

学校教育法 第74条

特別支援学校においては、第72条に規定する目的を実現するための教育を行うほか、幼稚園、小学校、中学校、義務教育学校、高等学校又は中等教育学校の要請に応じて、第81条第1項に規定する（＝教育上特別の支援を必要とする）幼児、児童又は生徒の教育（＝障害による学習上又は生活上の困難を克服するための教育）に関し必要な助言又は援助を行うよう努めるものとする。



独立行政法人国立特殊教育総合研究所(2004)
「個別の教育支援計画」の策定に関する実証的研究より

個別の支援計画

- 保育所保育指針
- 幼稚園教育要領
- 幼保連携型認定こども園教育・保育要領

において、作成することが記載されています

保育所保育指針（H29年改定）
第1章 総則 3 保育の計画及び評価（2）指導計画の作成

キ 障害のある子どもの保育については、一人一人の子どもの発達過程や障害の状態を把握し、適切な環境の下で、障害のある子どもが他の子どもとの生活を通して共に成長できるよう、指導計画の中に位置付けること。また、子どもの状況に応じた保育を実施する観点から、家庭や関係機関と連携した支援のための計画を個別に作成するなど適切な対応を図ること。

幼稚園教育要領 第1章 第5節 特別な配慮を必要とする幼児への指導 1 障害のある幼児などへの指導

障害のある幼児などの指導に当たっては、（中略）個々の幼児の障害の状態などに応じた指導内容や指導方法の工夫を組織的かつ計画的に行うものとする。
また、家庭、地域及び医療や福祉、保健等の業務を行う関係機関との連携を図り、長期的な視点で幼児への教育的支援を行うために、個別の教育支援計画を作成し活用することに努めるとともに、個々の幼児の実態を的確に把握し、個別の指導計画を作成し活用することに努めるものとする。

幼保連携型認定こども園教育・保育要領
第1章 第2節 3（1）障害のある園児などへの指導

障害のある園児などへの指導に当たっては、（中略）家庭、地域及び医療や福祉、保健等の業務を行う関係機関との連携を図り、長期的な視点で園児への教育及び保育的支援を行うために、個別の教育及び保育支援計画を作成し活用することに努めるとともに、個々の園児の実態を的確に把握し、個別の指導計画を作成し活用することに努めるものとする。

2. 個別の支援計画と個別の指導計画

(2) 個別の指導計画

個別の指導計画

保育所・幼稚園・認定こども園や学校での具体的支援・援助を行うための計画

就学前は、保育所や幼稚園等で作成

まとめ

- ・「保育所保育指針」および「保育所保育指針解説」においては、障害など特別な配慮を必要とする子どもの保育を指導計画に位置付けること、個に応じた関わりと集団の中の一員としての関わりの両面を大事にすること、組織的かつ計画的に保育を展開すること、等が明記されている。
- ・個別の支援計画は、乳幼児期から学校を卒業後社会に出るまでを見通し、障害のある子どもを生涯にわたって支援するための計画であり、様々な機関が連携して計画を作成する。
- ・個別の指導計画は、保育所・幼稚園・認定こども園や学校での具体的支援・援助を行うための計画であり、就学前は、保育所や幼稚園等で作成する。

振り返りシート	受講日	年	月	日
研修を受けて 感じたこと、考えたこと				
チャレンジしたいこと、 改善していきたいこと等 (振り返り予定 月 日)				
振り返りと次の目標 (実施日 月 日)				

個別の指導計画作成 1 - 観察と記録 -

仙台白百合女子大学
三浦 主博



本講座のねらい

1. 個別の指導計画の作成の流れについて理解する
2. 個別の指導計画の作成のために必要な子どもの実態把握の方法について理解する

障害児保育の計画

保育所保育指針（H29年改定）

第1章 総則 3 保育の計画及び評価（2）指導計画の作成

キ 障害のある子どもの保育については、一人一人の子どもの発達過程や障害の状態を把握し、適切な環境の中で、障害のある子どもが他の子どもとの生活を通して共に成長できるよう、指導計画の中に位置付けること。また、子どもの状況に応じた保育を実施する観点から、家庭や関係機関と連携した支援のための計画を個別に作成するなど適切な対応を図ること。

1. 個別の指導計画の作成

保育所保育指針解説 第1章 3（2）指導計画の作成

キ 障害のある子どもの保育…

【個別の指導計画】

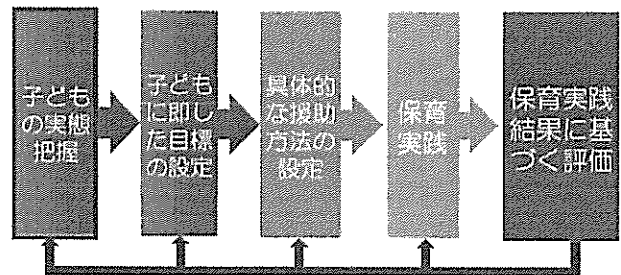
保育所では、障害のある子どもを含め、一人一人の実態を的確に把握し、安定した生活を送る中で、全ての子どもが自己を十分に発揮できるよう見通しをもって保育することが必要である。そこで、必要に応じて個別の指導計画を作成し、クラス等の指導計画と関連付けておくことが大切である。

障害のある子どもの保育

個別指導計画を作成

クラス等の指導計画と関連付けておく

個別の指導計画の作成と実践の手順



保育所保育指針解説 第1章 3（2）指導計画の作成

キ 障害のある子どもの保育…

【個別の指導計画】

特別な配慮を必要とする子どもの個別の指導計画を作成する際には、日常の様子を踏まえて、その子どもにとって課題となっていることが生じやすい場面や状況、その理由などを適切に分析する。

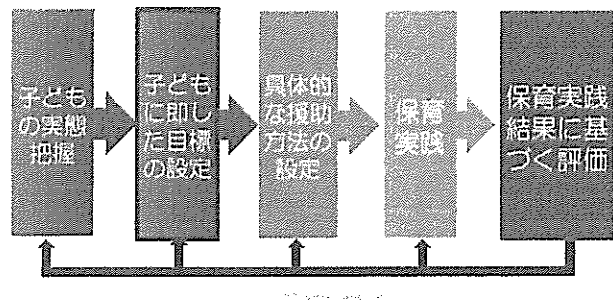
障害のある子どもの保育

個別の指導計画を作成

課題となっていることが生じやすい場面や状況
その理由などを適切に分析

⇒子どもの実態の把握

個別の指導計画の作成と実践の手順



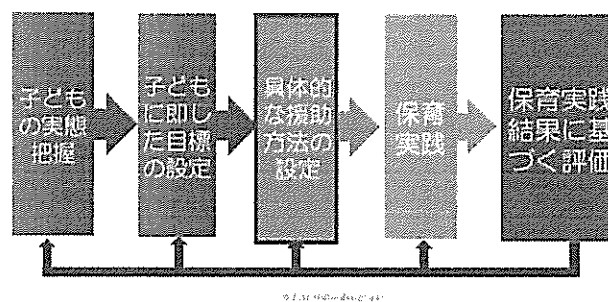
保育所保育指針解説 第1章 3 (2) 指導計画の作成
 ㊦ 障害のある子どもの保育…
 【個別の指導計画】

その上で、場面に適した行動などの具体的な目標を、その子どもの特性や能力に応じて、1週間から2週間程度を目安に少しずつ達成していけるよう細やかに設定し、そのための援助の内容を計画に盛り込む。

子どもの実態に基づく目標の設定

保育所での観察・記録等に基づく子どもの実態把握
 ⇒子どもの目標の設定

個別の指導計画の作成と実践の手順



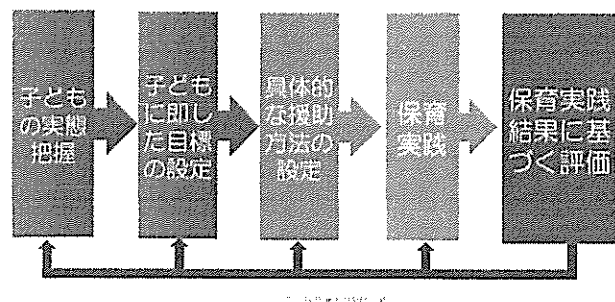
保育所保育指針解説 第1章 3 (2) 指導計画の作成
 ㊦ 障害のある子どもの保育…
 【個別の指導計画】

障害や発達上の課題のある子どもが、他の子どもと共に成功する体験を重ね、子ども同士が落ち着いた雰囲気の中で育ち合えるようにするための工夫が必要である。

具体的な援助方法の設定

子どもの目標を達成するために、具体的な援助方法を考える

個別の指導計画の作成と実践の手順



【ワーク】 子どもの実態把握の方法について考えよう

準備：A4用紙やノートなど

ワーク時間	
グループの場合	12分
個人の場合	7分

進め方

- ① 障害や発達に課題のある子どもの実態把握の方法について、各自書き出しましょう。
- ② 書き出した内容について、共有し、話し合しましょう。

*個人で行う場合、①のみ行う。

ワークの解説

- ・障害や発達に課題のある子どもの実態把握を行うためには、様々な方法があります。
- ・例えば、質問紙形式の発達検査やチェックリスト等を用いて、行う方法もあります。
- ・ここでは、子どもの実態把握のために行う、観察と記録について説明していきます。

2.子どもの実態把握

保育場面での観察と記録

保育は観察の連続

→観察には記録が伴う

日々の観察・記録の方法

- ・基本は筆記、写真、ビデオも活用
- ・形式にこだわる必要はない
(日誌、日記、メモ書き程度でも可)
- ・形にこだわると長続きしない
(継続が重要)
- ・一定期間(1週間、1ヶ月) おいて整理してみる
(変化が見えやすい)

記録の整理

- ・対象、問題を明確にする
- ・何ができているのか、できないのか?
- ・どのような状況で起こっているのか?
(時間帯、かかわり手)
- ・どのくらいできるのか、できないのか?
(程度)

観察・記録の項目

所定の書式・様式があるわけではない。

自治体によって、共通の書式・様式を提示している場合もある。

各保育所で使いやすい様式を検討し、作成・使用する。

観察・記録の項目の例 (保育内容5領域を中心)

項目(領域)	子どもの実態
基本的生活習慣	食事、排泄など
健康	健康状態、体調
運動	粗大運動、手先を使った活動
社会性(人間関係)	保育者、他の子どもとの関わり
環境	周囲の環境(園庭や戸外の自然)への関心
言葉	発話の様子、コミュニケーション
表現	音楽リズムへの関心
感覚	身体接触、触覚の過敏さ
あそび	興味関心、一人遊び、友達との遊び

観察・記録の項目の例

他にも、子どもや保育現場の実態に応じて枠組みを考える

- ・保育の場面ごと(登園時、自由遊び、中心的活動、昼食、午睡、降園時)
- ・幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿

等々

他の情報の活用

- ・他の保育者からの情報
- ・保護者からの情報
- ・医療、福祉、相談機関からの情報

まとめ

- ・ 個別の指導計画の作成の流れとしては、
子どもの実態把握 ⇒子どもに即した目標の設定
⇒具体的な援助方法の設定 ⇒保育実践
⇒保育実践結果に基づく評価 がある。
- ・ 子どもの実態把握のための方法として、観察と記録を行い、
整理することが大切である。

振り返りシート	受講日	年	月	日
研修を受けて 感じたこと、考えたこと				
チャレンジしたいこと、 改善していきたいこと等 (振り返り予定 月 日)				
振り返りと次の目標 (実施日 月 日)				

3.障害児保育

SH4.障害児保育の指導計画、記録及び評価

SH4-4

個別の指導計画作成 2

－目標の設定－

仙台白百合女子大学
三浦 主博



Copyright © 2019 by Shirohime University

Copyright © 2019 by Shirohime University

障害児保育の計画

保育所保育指針（H29年改定）

第1章 総則 3 保育の計画及び評価（2）指導計画の作成

キ 障害のある子どもの保育については、一人一人の子どもの発達過程や障害の状態を把握し、適切な環境の下で、障害のある子どもが他の子どもとの生活を通して共に成長できるよう、指導計画の中に位置付けること。また、子どもの状況に応じた保育を実施する観点から、家庭や関係機関と連携した支援のための計画を個別に作成するなど適切な対応を図ること。

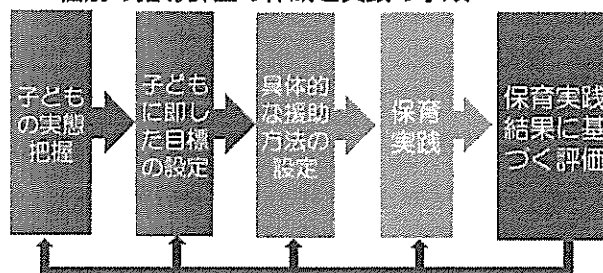
Copyright © 2019 by Shirohime University

本講座のねらい

1. 個別の指導計画の作成の流れについて確認する
2. 個別の指導計画の様式に含むべき主な項目を理解する
3. 個別の指導計画の作成のために必要な子どもに即した目標の設定の方法及び留意点について理解する

1. 個別の指導計画の作成

個別の指導計画の作成と実践の手順



Copyright © 2019 by Shirohime University

[ワーク]

個別の指導計画の様式（書式）について考えよう

準備：勤務先の「個別の指導計画」、A4用紙1人1枚

ワーク時間	
グループの場合	10分
個人の場合	5分

進め方

- ① 「個別の指導計画」の様式に含まれている項目を書き出してみよう。勤務先に「個別の指導計画」がない場合は、どのような項目が必要であるか考えよう。
- ② 書き出した内容について、共有し、「個別の指導計画」の様式に必要な項目について、話し合おう。

*個人で行う場合、②では必要だと思う項目を書き出しよう。

Copyright © 2019 by Shirohime University

ワークの解説

- ・「個別の指導計画」については、所定の様式（書式）があるわけではありません。
- ・各園で、使いやすい様式を検討し、作成・使用することが大切です。
- ・勤務先に「個別の指導計画」の様式（書式）がない場合は、この機会に検討し、作成してみましょう。
- ・一般的には、基本情報、子どもの実態、子どもの目標、保育者の援助・配慮事項、評価などを1枚の用紙に記入していきます。

Copyright © 2019 by Shirohime University

2. 個別の指導計画の様式

①基本情報

- ・対象となる子どもの基本情報
子どもの氏名、年齢、クラス名
診断名、手帳の有無
利用している医療・福祉機関の情報
- ・子どもの家庭での姿（保護者からの情報）
保護者との面談の経過
子どもの家庭での様子
保護者の思いや願い
など、子どもに援助する上で参考になる情報

Copyright © 2019 by Shirohime University

①基本情報

- ・関係する専門機関との連携の情報
医療・療育機関、福祉機関などからの情報
デイ・サービス、小学校などへ引継ぐこと

Copyright © 2019 by Shirohime University

②子どもの実態

- ・子どもの実態把握（観察・記録）の情報
生活習慣と保育内容5領域の項目
特に気になる事項についてのエピソード
など、子どもの実態が分かるように記載

③子どもの目標

- ・年間目標、期（季）ごとの目標、短期の目標（月、週）
など、段階的に記載

④保育者が行う援助・配慮事項

- 目標を達成するために、保育者が行う援助や
保育の工夫、配慮事項などを記載

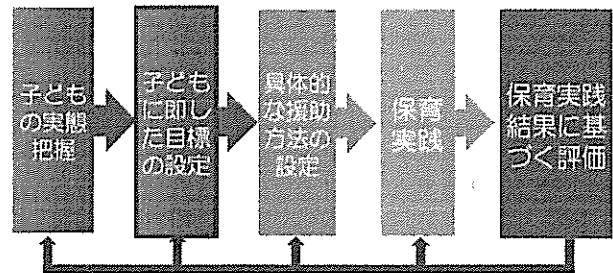
⑤保育・援助の結果・評価

計画の様式には、保育・援助の結果と評価を記載する欄を設けておくとよい

- 目標に関連する援助による子どもの姿
保育者の行った援助で、うまくいったこと、
うまくいかなかったこと、今後の課題など

3. 子どもに即した目標の設定

個別の指導計画の作成と実践の手順



保育所保育指針解説 第1章 3 (2) 指導計画の作成
キ 障害のある子どもの保育…

【個別の指導計画】

特別な配慮を必要とする子どもの個別の指導計画を作成する際には、日常の様子を踏まえて、その子どもにとって課題となっていることが生じやすい場面や状況、その理由などを適切に分析する。

子どもの実態に基づく目標の設定

保育所での観察・記録等に基づく子どもの実態把握

⇒子どもの目標の設定

保育所保育指針解説 第1章 3 (2) 指導計画の作成
キ 障害のある子どもの保育…

【個別の指導計画】

その上で、場面に適した行動などの具体的な目標を、その子どもの特性や能力に応じて、1週間から2週間程度を目安に少しずつ達成していけるよう細やかに設定し、そのための援助の内容を計画に盛り込む。

指導計画（目標）の項目・記録の項目との連動

短期計画

- ・子どもの記録と同じ項目（領域）で目標を設定するとよい
- ・スモールステップの目標を設定
1週間から2週間程度を目安に、少しずつ達成していけるよう細やかに設定

大きな枠組み（包括的な表現）での目標の設定

長期計画

- ・ 全体的な計画、各年齢の指導計画などを踏まえて立案する
- ・ 1日の特定の場面や時間での行動や活動に限定せず、子どもの発達・成長を様々な視点から評価できる包括的な表現が望ましい

目標設定の留意点

- ・ 生活年齢ではなく、発達年齢に合わせた目標を設定する
- ・ 子どもが現在できないことをできるようにすることだけではない（現状維持も大切）
- ・ 子どもにとって保育所生活が充実するために必要なことを考える
- ・ 保護者の願いや思いも含めて考える

まとめ

- ・ 個別の指導計画の作成の手順として、子どもの実態把握から保育実践結果に基づく評価までの一連の流れを確認する。
- ・ 「個別の指導計画」の様式（書式）に決まりはないので、各園で、子どもの実態に応じて使いやすい様式を検討し、作成・使用する。
- ・ 「個別の指導計画」の様式（書式）に含まれる事項としては、基本情報、子どもの実態、保育の目標、保育者の援助・配慮、評価などがある。
- ・ 短期目標の設定にあたっては、スモールステップの目標を設定し、子どもが少しずつ達成していけるようにする。

振り返りシート	要請日	年	月	日
研修を受けて 感じたこと、考えたこと				
チャレンジしたいこと、 改善していきたいこと等 (振り返り予定 月 日)				
振り返りと次の目標 (実施日 月 日)				

計画に基づく障害児保育の実践

仙台白百合女子大学
三浦 主博



1. 長期的な指導計画に基づく障害児保育について理解する
2. 障害のある子と共に育ちあうクラス運営の方法について理解する

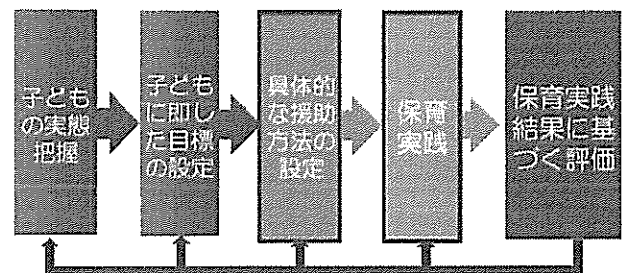
1. 計画に基づく障害児保育の実践

保育所保育指針（H29年改定）

第1章 総則 3 保育の計画及び評価（2）指導計画の作成

キ 障害のある子どもの保育については、一人一人の子どもの発達過程や障害の状態を把握し、適切な環境の下で、障害のある子どもが他の子どもとの生活を通して共に成長できるよう、指導計画の中に位置付けること。また、子どもの状況に応じた保育を実施する観点から、家庭や関係機関と連携した支援のための計画を個別に作成するなど適切な対応を図ること。

個別の指導計画の作成と実践の手順



保育所保育指針解説 第1章 3（2）指導計画の作成

キ 障害のある子どもの保育…

【保育所における障害のある子どもの理解と保育の展開】

一人一人の障害や発達上の課題は様々であり、その状態も多様であることから、保育士等は、子どもが発達してきた過程や心身の状態を把握するとともに、保育所の生活の中で考えられる育ちや困難の状態を理解することが大切である。そして、子どもとの関わりにおいては、個に応じた関わりと集団の中の一員としての関わりの両面を大事にしながら、職員相互の連携の下、組織的かつ計画的に保育を展開するよう留意する。

保育所保育指針解説 第1章 3（2）指導計画の作成

キ 障害のある子どもの保育…

【個別の指導計画】

障害や発達上の課題のある子どもが、他の子どもと共に成功する体験を重ね、子ども同士が落ち着いた雰囲気の中で育ち合えるようにするための工夫が必要である。

- ・ 障害や発達上の課題のある子ども
- ・ クラスの中で、他の子どもと共に育つ
- ↓
- ・ 子ども同士が落ち着いた雰囲気の中で育ち合えるようにするための工夫が必要
- ↓
- ・ 計画に基づいた、共に育ちあうクラス運営が大切

(1) 長い目で見守り、育ちを待つ

→ 卒園までの見通しを立てる→

- ・ 障害や発達上の課題のある子どもの対応、その子を含めたクラス全体の保育
- 日々の保育に追われ、疲れてしまう
- 目先のことだけにとらわれず、見通しを立てる必要がある

- ・そのクラス(子どもたち)の卒園時までの目標(理想)の状態を思い描く(≒保育所全体の全体的な計画)
- ・現状から、その理想的な状態までの大まかな見通しを立てる
- ・経験豊富な保育者であれば、意識しなくても普通に行っていること

- ・子どもの発達過程(発達段階)や、それに応じた保育内容の流れの再確認
- ・その見通しにそって、スモールステップの目標を設定し、今行すべきことを明確にする
- ・けっして焦らずに、長い目で見守り、育ちを待つ
- ・次のステップに進むことよりも現在出来ていることを維持することもとても重要

(2) クラスの1年の流れに沿って考える

一般的なクラスの1年の流れ

(4・5歳児を想定:あくまで目安)

- 4~5月:まだ集団がまとまらない時期
- 6~8月:少しずつまとまり始める時期
- 9~10月:クラス全体がまとまる時期
- 11~12月:クラス全体がさらにまとまる時期
- 1~3月:クラス全体のまとまりが強くなるが、一方でやや足並みがそろわなくなる時期

- ・クラスの1年の流れを念頭において年間計画等を立てることが望ましい。
- ・「気になる子」の場合、保育をしながら「気になる」ようになるので、その結果、当然のことながら、保育は試行錯誤的になる。
- ・その場合は、振り返りを行い、次年度以降の計画に生かしていく。

2. 共に育ちあうクラス運営

(1) 2歳児以降(特に3歳以上児)は、クラス全体のまとまりが非常に重要

- ・人的環境の重要性
- ・クラス内の子ども全員が、人的環境
- ・お互いに協力し合えるような人間関係をどうやって形成するか?

(2) 3歳未満児からの保育が重要

- ・1、2歳児:保育士数(設備運営基準)が子ども6人につき1人
- ・一人ひとりの子どもと関わる機会を多く持てる
- ・応答的で丁寧な対応が可能

(3) クラスのすべての子どもに個別に丁寧に関わる

- ・クラス全体が落ち着かない
→担任が「障害児」に関わることが多く、他の子の甘えも強くなる
→特に、年度初めで、年齢が低いクラスほどその傾向が顕著
- ・クラスすべての子どもに個別に丁寧に関わるよう努める

(4) クラス環境(保育室)の改善は、クラス全体の子どものためにする

- ・視覚刺激を多く使用する
→「障害児」のためだけでなく、特に低年齢であればわかりやすくなり有効
- ・「障害児」を「特別扱い」しないための一つの配慮でもある
- ・分かりやすい言葉かけも同様

(5)保育者一人で課題を抱え込まない

- ・自分が関わらなければ、このクラス（子どもたち）はうまくいかない？
→保育者の陥りやすい落とし穴
→特定の人への指示にしか従わない子どもたちの姿は保育がめざすべき子どもの姿ではない
- ・保育者の不安や苛立ちは、どんなに繕っても子どもたちに伝わる
→それが原因で子どもたちの落ち着きがなくなるのでは悪循環に陥る

[ワーク]
障害のある子や気になる子を含むクラス運営で困ったことについて話し合おう

ワーク時間	10分
グループの場合	10分
個人の場合	5分

準備：A4用紙やノートなど

進め方

- ① 障害のある子や気になる子を含むクラス運営で困ったことについて、各自書き出しましょう
- ② 書き出した内容について、共有し、話し合しましょう。

*個人で行う場合、①のみ行う。

ワークの解説

- ・保育所全体での理解と職員の協力体制が大切
担任や担当者だけで課題を抱え込まない
担任や担当者だけに責任を押し付けない
- ・全職員が共通の認識に立つ
安全確保・健康管理・指導上の留意点など
全職員の知恵や経験を出し合い協力
- ・保育者による保育方針や関わり方の違い
子どもは混乱する、一貫性の必要

まとめ

- ・障害や発達上の課題のある子の保育を行うにあたっては、短期的な計画だけでなく、長期的な指導計画に基づく保育を行うことが大切である。
- ・障害や発達上の課題のある子どもは、クラスの中で、他の子どもと共に育つため、計画に基づいた、共に育ちあうクラス運営が大切である。
- ・障害や発達上の課題のある子どもの保育にあたっては、保育所全体での理解と職員の協力体制が大切である。

振り返りシート	受講日	年	月	日
研修を受けて 感じたこと、考えたこと				
チャレンジしたいこと、 改善していきたいこと等 (振り返り予定 月 日)				
振り返りと次の目標 (実施日 月 日)				

3.障害児保育

SH4.障害児保育の指導計画、記録及び評価

SH4-6

障害児保育の評価

仙台白百合女子大学
三浦 主博



本講座のねらい

1. 保育の評価を行う意味について理解する
2. 保育の評価を行うための保育カンファレンスについて理解する
3. 保育の評価結果の活用について理解する

1. 保育の評価

保育の評価を行う意味

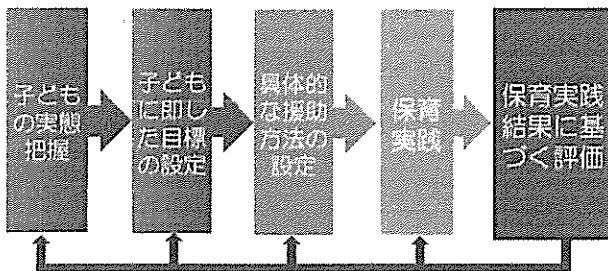
保育所保育指針 第1章 3 保育の計画及び評価
(5) 評価を踏まえた計画の改善

ア 保育所は、評価の結果を踏まえ、当該保育所の保育の内容等の改善を図ること。

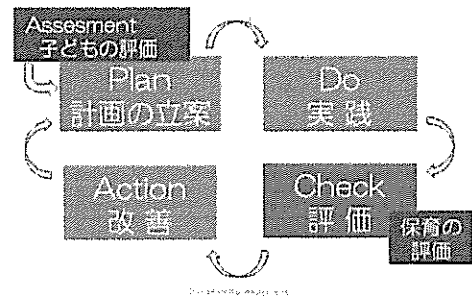
保育の評価を行う意味

- ・ 評価を保育の内容等の改善に結び付ける
- ・ できるだけ客観的に行うことが必要
(自己満足に終わらない、その後に生かしていくため)

個別の指導計画の作成と実践の手順



PDCAサイクルによる保育の改善



保育所保育指針 第1章

3 保育の計画及び評価 (4) 保育内容等の評価

ア 保育士等の自己評価

(ア) 保育士等は、保育の計画や保育の記録を通して、自らの保育実践を振り返り、自己評価することを通して、その専門性の向上や保育実践の改善に努めなければならない。

保育についての評価 ⇔ 振り返り (省察)

保育士等の自己評価

保育の計画や保育の記録を通して、保育実践を振り返り、自己評価を行う

⇒ 専門性の向上や保育実践の改善

保育所保育指針 第1章

3 保育の計画及び評価 (4) 保育内容等の評価

ア 保育士等の自己評価

(イ) 保育士等による自己評価に当たっては、子どもの活動内容やその結果だけでなく、子どもの心の育ちや意欲、取り組む過程などにも十分配慮するよう留意すること。

保育についての評価 ≡ 振り返り (省察)

保育士等の自己評価

子どもの活動内容やその結果だけでなく、子どもの心の育ちや意欲、取り組む過程などにも十分配慮する

評価の機能的分類 教育評価の分類

ブルーム (Bloom, B.S.)

診断的評価: 学習指導を行う前 (≡実態把握)

形成的評価: 学習指導の途中

総括的評価: 学習指導の終了後 (≡到達度評価)

⇒形成的評価の視点も必要

評価の信頼モデルと問題点モデル

マーガレット・カー (Margaret Carr)

問題点モデル: 子どもの出来ていない、身につけていない点について評価

信頼モデル: 子どもは能動的な学び手であり、保育への意欲的な参加の姿を積極的に捉える評価

⇒肯定的な評価の重要性

保育所保育指針 第1章

3 保育の計画及び評価 (4) 保育内容等の評価

ア 保育士等の自己評価

(ウ) 保育士等は、自己評価における自らの保育実践の振り返りや職員相互の話し合い等を通じて、専門性の向上及び保育の質の向上のための課題を明確にするとともに、保育所全体の保育の内容に関する認識を深めること。

[ワーク]

障害児保育の評価を行うために、どのような振り返りの方法があるのか考えよう

準備: A4用紙やノートなど

ワーク時間
グループの場合 10分
個人の場合 5分

進め方

- ① 障害児保育の評価を行うために、どのような振り返りの方法があるのか、各自書き出しましょう
- ② 書き出した内容について、共有し、話し合いましょう。

*個人で行う場合、①のみ行う。

ワークの解説

- ・保育の振り返りには、保育の記録等に基づいて、保育者一人一人で行う方法 (自己評価) もある。
- ・保育現場の同僚と、対話を通して、保育の振り返りを行うことも大切である。
- ・このワークで行ったように、さまざまな視点からの考えを共有することで、深い振り返りや評価を行うことができる。

2. 保育の振り返り

保育カンファレンス (事例検討)

- ・複数の保育者による対話を通じた振り返り
- ・定期的に関催し、その次の指導計画の立案や改善に生かす
- ・職員間での連携や協働、共通理解につなげる

3. 保育の評価結果の活用

保護者との連携

保護者への伝達に生かす

職員間の連携

園内での情報共有に生かす

専門機関との連携

発達相談等の資料として生かす

まとめ

- ・保育の評価（振り返り）を行うことで、保育の内容等の改善に結び付けることができる。
- ・保育の計画を立て、実践し、評価（振り返り）を行って、また改善した計画を立てる、といったサイクルで保育を行っていくことが大切である。
- ・子どもの評価を行う際は、結果だけでなく、子どもの心の育ちや意欲、取り組む過程などについても配慮することが大切である。
- ・保育の評価のためには、複数の保育者による対話を通して振り返りを行うとよい。
- ・保育の評価結果は、保護者、職員間、専門機関との連携などに役立てることができる。

振り返りシート	受講日	年	月	日
研修を受けて 感じたこと、考えたこと				
チャレンジしたいこと、 改善していきたいこと等 (振り返り予定 月 日)				
振り返りと次の目標 (実施日 月 日)				

3.障害児保育

SH5.気になる子どもの保護者への支援・保護者との協働

SH5-1

気になる子どもを取り巻くつながり

国立特別支援教育総合研究所
久保山 茂樹



どの園・学校でも日々起きている大変な状況

あばれる、大声、傷つけることば……その中で

▶先生も、苦しい

- ・私が担任でなければ、うまくいっているはず
- ・指導力不足と言われたくない
- ・あの子だけ特別なことをしていいの？

▶保護者も、苦しい

- ・私の育て方の問題かもしれない、親失格だ
- ・私の育て方のせいにされたくない
- ・うちの子だけ特別なことをされるのは嫌

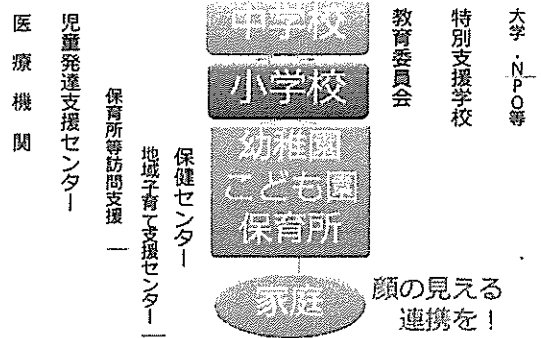
先生も、保護者も、がんばっている！

- 先生として、親として、逃げずに、子どもと生きてきた歴史がある
- 試行錯誤の中にも、ヒントがある
うまくいかなかったことも、大事なヒントだから……
- 誰かを責めないで、つながろう
工夫やヒントをあつめたら、みんなで使える宝物になる！



子どもの過ごしやすさ・学びやすさの実現！

地域に のりしろ あるつながりを作ろう！



顔の見える連携を！

つながるための仕組み① 岡山県津山市（人口約10万人）

津山市特別支援教育推進センター

- 津山市立北小学校内に設置（平成25年度）
 - ・小学校通級指導教室（言語、LD等、4担当）と通級指導教室幼児部（3担当）を一体的に運用
 - 担当者は、保育士、幼稚園教諭（こども保育課）
- 幼児部
 - ・通級する幼児の在籍園との訪問等による連携
 - ・保護者支援、教育相談
 - ・保育所・認定こども園・幼稚園の職員への研修

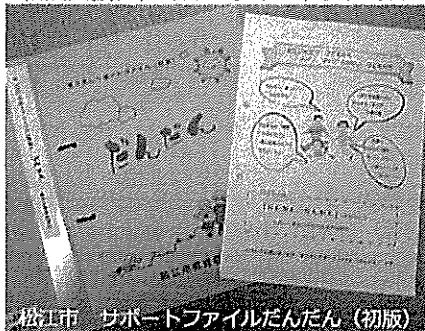
つながるための仕組み② 鳥根県松江市（人口：約20万人）

発達・教育相談支援センター『エスコ』

（松江市教育委員会が平成23年度設置）

- 乳幼児期から、就学、青年期まで切れ目ない支援
 - ・保健福祉総合センター（母子保健の拠点）内に設置
 - ・園、学校への訪問支援
 - ・就学相談、保護者支援
- サポートファイル「だんだん」
 - ・保護者が管理し、様々な機関で生涯活用するファイル
- 特別支援幼児教室
 - ・市立幼稚園・幼児部の8園に13教室設置
 - ・3歳～就学前の幼児を対象とする通級指導教室

相談支援ファイル サポートファイル



松江市 サポートファイルだんだん (初版)

つながるための仕組み③ 北海道札幌市（人口：約197万人）

札幌市幼児教育センター（平成20年度設置）

- 各区に、市立幼稚園1園ずつ設置（＝研究実践園）
- 幼児教育支援員を全市立幼稚園に配置
 - ・幼稚園での豊富な経験、特別支援教育の研修を受講
 - ・区内の保こ幼（含私立）の支援、保護者との教育相談
- 各区毎に、幼保小連携推進協議会
 - ・幼稚園・保育所・小学校連携カレンダーで日常の連携
 - ・保こ幼と小学校の職員が同じ研修（年3回）を受講
 - ①小学校から就学後の報告
 - ②研究者等の講義
 - ③子どもの引き継ぎのための連絡会

つながるための仕組み④ 福岡県芦屋町（人口：約13000人）

- あしやすくすくファイル（相談支援ファイル）の活用
 - ・芦屋町教育委員会が作成
 - 母子健康手帳交付時に、全員に配付
 - ・乳幼児健診、保育所・幼稚園の相談に活用
 - ・就学時健診には、全員が持参
- 保育所・幼稚園の巡回相談員がつなぐ
 - ・教育支援委員（就学）、小学校の巡回も
- 町の広報に特別支援教育について連載
- 入学式・PTA総会で校長が保護者にお話

子どものリュックの中に入れていきたい
これなら だいじょうぶ！

乳幼児期から、その子の
これなら だいじょうぶ！
を、増やす、つなぐ

↓

これ以上、難しい子にしない
そして
穏やかな青年期を！
(金野公一先生の教えから)



[ワーク]

準備：スマートフォンやタブレット等

ワーク時間
グループの場合 10分
個人の場合 7分

あなたが住むまちの保護者を支える仕組みはどう
なっているか調べてみましょう。
それを周囲の人と共有してみましょう。
*個人で行う場合は、調べて書き出してみましょう。

振り返りシート	実施日	年	月	日
研修を受けて 感じたこと、考えたこと				
チャレンジしたいこと、 改善していきたいこと等 (振り返り予定 月 日)				
振り返りと次の目標 (実施日 月 日)				

親子の歴史を見守る母子保健の役割

国立特別支援教育総合研究所
久保山 茂樹



© 2016 NISSH, All Rights Reserved.

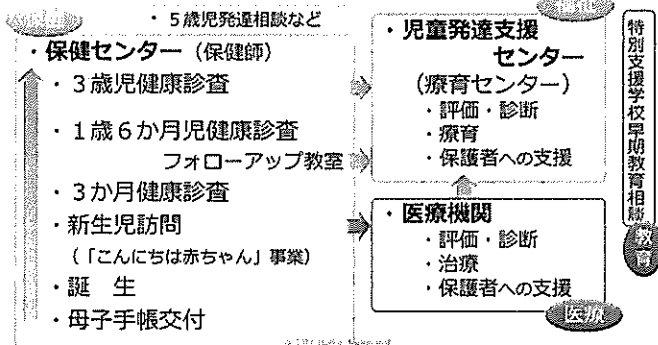
保護者はわかってこない
と言いたくなるけれど



- ▶ 何をわかってほしいのか？
→ それは、いまの保護者にとってどうなのか？
そして、その前に・・・
- ▶ 保護者のことを、どれだけわかろうと
しているだろうか？
- ▶ 保護者にまず伝えるべきことはなにか？

© 2016 NISSH, All Rights Reserved.

親子の歴史とともに歩むシステムの例



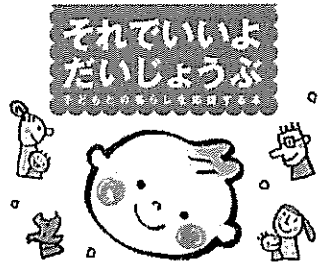
© 2016 NISSH, All Rights Reserved.

健診の「相談」ではこんなことも・・・

- 人なつこい我が子が許せないんです！
- ママ友がいないと、子どもが引きこもりになるって本当でしょうか？
- 窓を全部開け、クーラーをかけてから子どもをどなります
- 近所では虚勢を張って生きています
- 懇談会なんてやめてほしいんです
- 健診会場で帽子をかぶったままの母親
- 指しゃぶりが「主訴」、でも本当は・・・

© 2016 NISSH, All Rights Reserved.

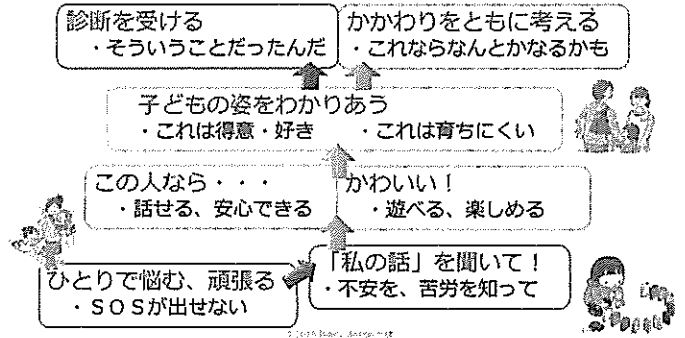
保護者とつながり、協働するための合言葉



編集：子育て支援情報提供事業小冊子編集委員会
作成：財団法人母子衛生研究会 ネット上で動く絵本になっています

© 2016 NISSH, All Rights Reserved.

保護者と協働するために



© 2016 NISSH, All Rights Reserved.

いま、母子保健の現場で起きていること

- 「ねえ、お湯な～い？」と言いながら、ほ乳びんをさしだすお母さん
(派手な服装、10代・・・)
- 4か月健診に、赤ちゃんを連れてこないお母さん
(真面目そう、表情固い・・・)
- 母子手帳を穢された！交換して！
と言ってきたお母さん
(興奮して、相当怒っている・・・)



© 2016 NISSH, All Rights Reserved.

どうして子育て支援が必要なのか！

- 母子1対1（密室育児）
- 相談相手がいない
- 本音が言えない・弱みを見せられない
- 育児の評価が私の評価、
育児の責任は全て私にある、という思い込み



孤独感、不全感・・・

- マニュアルや情報の氾濫

© 2016 NISSH, All Rights Reserved.

本当に求められている子育て支援とは

- 個にしっかりと向きあうこと、
しっかりと聴くこと
- 育児の責任を（母親）一人に押しつけない
- 孤独感・不全感をとりぞくこと
いま、できていることの確認すること
- 子どもから離れることも大切！



[ワーク]

準備：スマートフォンやタブレット等

ワーク時間 5分

あなたが住むまちの乳幼児健診は、
何か月ごろどこで行われているか調べてみましょう。
それを周囲の人と共有してみましょう。
*個人で行う場合は、調べて書き出してみましょう。

振り返りシート	受講日	年	月	日
研修を受けて 感じたこと、考えたこと				
チャレンジしたいこと、 改善していきたいこと等 (振り返り予定 月 日)				
振り返りと次の目標 (実施日 月 日)				

3.障害児保育

SH5.気になる子どもの保護者への支援・保護者との協働

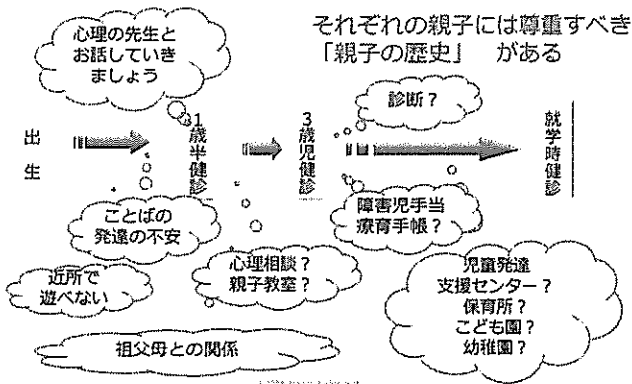
SH5-3

気になる子どもの保護者のおもいを想像する1

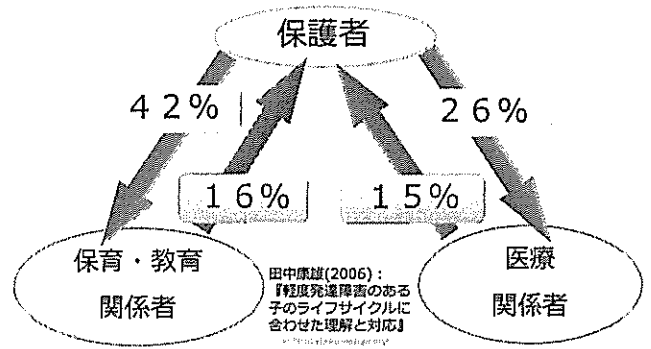
国立特別支援教育総合研究所
久保山 茂樹



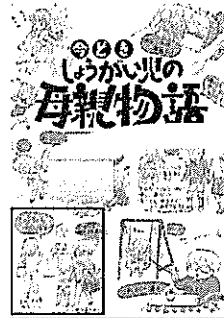
Copyright © 2014 by SH5-3



「連携がうまくいっていない」と感じている割合

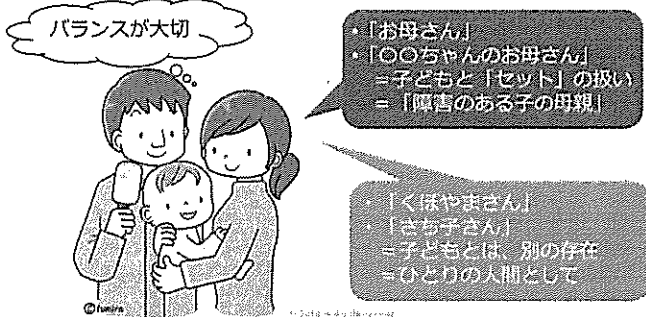


障害のある子どもや保護者は、いつもみんなよりがんばるのか?



周囲の「善意」 = 「がんばれの合唱」で包んでいないだろうか?

「○○ちゃんママ」として出会うのか、子どもとは別の一人の女性として出会うのか



保護者のおもいへの想像力を高めよう!

先生が言いたい・・・子どもの困った状態!
・私(先生)がこんなに「困っている!」



わかりあうためには保育者に想像力が必要
話を【聴くこと】、想像力の【引き出し】

保護者が話したい・・・自分のおもい(本音)
・私(親)だって、こんなに困っている「現状」
・これまで、こんなにがんばってきた「歴史」

[ワーク]

ワーク時間 5分

いま気になっている子どもの保護者は、あなたに何を聞いてほしいと思いますか、想像して書いてみましょう。

主訴とおもい

主訴・・・子どもについて主訴
子どもの状態
・聞き取りやすい、語りやすい
・客観的アセスメントも可能

おもい・・・保護者の主訴
保護者の内面・本音
・聞き取りにくい、語りにくい
・聞き手の姿勢に左右される

障害のある子どもやその保護者との
早期出会い と 早期からのおつきあい

出会い を大切にしたい！

- ・お子さんや保護者と **出会う** という姿勢
- ・ともに考える存在として
- ・早期出会いとは
→ これから続いていく
長いおつきあいの始まり

「障害」を「発見」する？
「障害」を「治療」する？ 「治す」？

障害のあるお子さんや保護者と
専門家との出会いの場面

1. 妊娠中・周産期・新生児期

→肢体不自由、感覚障害、重度・重複障害

2. 1歳半健診（1歳台後半）

→自閉症、知的障害

3. 幼稚園入園後（3歳後半～）

→発達障害

生後すぐに障害がわかるお子さん

●**妊娠中**

- ・超音波検査 ・母体血清マーカー検査
- ・羊水検査 ・早産 など

●**周産期、新生児期**

- ・分娩時の問題（脳症、脳性まひなど）
- ・染色体の異常 ・口唇裂口蓋裂
- ・先天性代謝異常
- ・新生児聴覚スクリーニング など

振り返りシート	受講日	年	月	日
研修を受けて 感じたこと、考えたこと				
チャレンジしたいこと、 改善していきたいこと等 (振り返り予定 月 日)				
振り返りと次の目標 (実施日 月 日)				

気になる子どもの保護者のおもいを想像する2

国立特別支援教育総合研究所
久保山 茂樹



出生直後に告知を受けた保護者のおもい
告知を受けた次の日から、私は、娘を「かわいい」とは思えなくなりました。抱きたいとも思わなくなりました。死んでくれたらいいのに。
こんな子じゃない。
娘がいなくなったとしても今だったら忘れられる、そう思っていました。
とにかく私は、娘の出生はなかったことにしたかったです。

日本ダウン症協会(1999)：ようこそダウン症の赤ちゃん

障害のあるお子さんや保護者と専門家との出会いの場面

- 1. 妊娠中・周産期・新生児期
→肢体不自由、感覚障害、重度・重複障害
- 2. 1歳半健診(1歳後半)
→自閉症、知的障害
- 3. 幼稚園入園後(3歳後半～)
→発達障害

出生直後に告知を受けた保護者のおもい
一生歩けないと言われた娘はその時点で私の失敗作だった。何であの時死ななかつたんだろう。最初っから生まなきやよかった。娘をかわいいと思う気持ちは消えていた。かわいいと思わない私は母親失格だ。もっとかわいいと思わなきや。そう思えば思うほど私の気持ちは冷めていった。ミルクとおしめ替え以外、私は娘のそばに近づかなくなった。

野辺明子他編(1999)：障害を持つ子を産むということ

出生直後に告知を受けた保護者のおもい

(心臓の手術を前にして父方の祖母に)

「やめた方がいいんじゃない？」と言われました。
「息子(夫)がよれよれの服で仕事に通ったりしたら出世にも響くし、(姉)さんも将来結婚できなくなるわ。このままこんな状態が続くと家族に負担がかかるのよ。」

**「どうせ助かっても
ダウン症でしょう」**

野辺明子他編(1999)：障害を持つ子を産むということ

生後すぐに障害がわかる お子さんの保護者のおもい

「死んでほしかった」「かわいくない」から、始まっているかもしれない育児

「専門家」への不信感

強い孤立感



相談したのに・・・傷ついたセリフ

相談員に言われたのです、

愛情が足りないって……。

たった15分しか話していないのに、話しかけが足りないのは認めるけど、そうせざるをえない事情もあったことを**全く聞いてくれない。**

専門家不信になってしまいました。

富の菜通他(1999)：うちの子、ことばが遅いのかな……

健診で指摘を受けた保護者のおもい

母親のスキンシップ不足

とのことを言っていました、

もうこれ以上どうしろ

というのだ……。

久保山茂樹・小林綾代(2000)：障害児の早期からの教育相談における保護者対応

許せない専門家！

(2歳で専門医の診察を受ける)
 「医学的には異常なし。でもこういう子は一生変な子のままですよ。」と
 にやにや笑っているお医者さんの顔を見ながら、私はこれ以上ないほどの苦しさを味わいました。どのようなケアが必要かという、アドバイスも一切なく、途方に暮れてしまいました。

全国言語障害児を持つ親の会機関誌(1996)：166巻3号

相談したのに・・・かえってつらい

いろいろなところに相談したが、どれも私にとっては手ごたえを感じなかった。
私自身を否定されているようで、

ことばの教室に通い始めるまでは、
 ずっと **出口のないトンネル** にいるようだった。

久保山茂樹・小林倫代(2000)：障害児の早期からの教育相談における保護者対応

幼児期になって障害が予測された
 お子さんの保護者が抱きがちな おもい

専門家への不信感
 = 保護者を責める言動

自責の念、育児への不全感

他児との比較、あせり

強い孤立感



【ワーク】

ワーク時間 5分

いままでかかわった保護者から、障害の告知やその時のおもいについて聴いたことがあれば、話し合ってみましょう。
 *個人受講の方は、空いているスペースに書き出してみましょう。

振り返りシート	受講日	年	月	日
研修を受けて 感じたこと、考えたこと				
チャレンジしたいこと、 改善していきたいこと等 (振り返り予定 月 日)				
振り返りと次の目標 (実施日 月 日)				

気になる子どもの保護者のおもいを想像する3

国立特別支援教育総合研究所
久保山 茂樹



わが子と生きる決意

告知されてすぐは、私自身が事実と向き合うことに一生懸命で余裕がなくて、NICUの看護師さんやお見舞いに来た両親が「かわいい」を連発するのに対して素直に受け止めることができませんでした。

それでも、看護師さんが私たちがいない間の次男の写真を撮ってメッセージと一緒に残してくれたり、わずかな成長を教えてくれて、だんだんと状況を受け入れることができたと思います。

わが子がダウン症と告知されたママ・パパたち(2017)
わが子がダウン症と告知された81人の「声」第二集

久保山茂樹・小林倫代(2000)

わが子と生きる決意

(生後3か月、冷房を入れ忘れた部屋に子どもが汗びっしょりで寝ていた。慌てて娘の様子を確かめた。)娘の胸に耳をあててみました。

「ドクン、ドクン・・・」 **力強い心臓の音。娘の生命の音。**

その音を聞いて、私は**一生懸命に生きようとしている娘がとても愛しく 感じたのです。**

日本ダウン症協会(1999)：よろこソダウン症の赤ちゃん

久保山茂樹・小林倫代(2000)

わが子と生きる決意

子どもに接するあらゆる人からの影響なので**決して母親が悪いからこうなったんじゃないんです**

と言われて安心したのと、逆に自分の接し方が悪かったのかと思い直したぐらい・・・

久保山茂樹・小林倫代(2000)：障害児の早期からの教育相談における保護者対応

久保山茂樹・小林倫代(2000)

わが子と生きる決意

初めて、ことばの教室に行き、泣きながらそんな話をしたら、**初めて今までやってきた事、自信をもってください**

と言われ、**初めて救われました。**4年前にそう言ってくれる人がいたら、きっと吃音も治っていい子育てもできたと思い、4年間を返して欲しいです。

久保山茂樹・小林倫代(2000)：障害児の早期からの教育相談における保護者対応

久保山茂樹・小林倫代(2000)

わが子と生きる決意

わが子が確かに生きていて、成長している手ごたえがある



「あなたのせいではない！」
「ここまで、よくがんばった！」
と認めてくれる人の存在

わが子をかawaiiと思う人の存在

同じおもいの保護者の存在



久保山茂樹・小林倫代(2000)

揺れ動く保護者のおもいを受けとめて

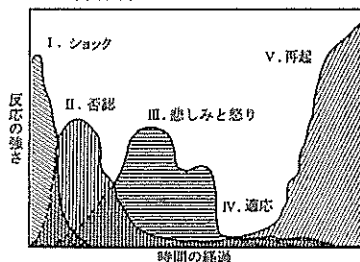


図1 先天奇形をもつ子どもの誕生に対する正常な親の反応の経緯を示す仮説的な図

Drotar D,他, 1975 中田洋二郎氏の論文から転載

久保山茂樹・小林倫代(2000)

診断を受けるということ

●プラスの効果

- ・育て方のせいではないことが、確認できる
- ・同じ障害について情報が得られる
- ・前向きになれる保護者もいる

●マイナスの効果

- ・精神的ショックが大きい
- ・保護者、家庭の危機
- ・障害名で子どもを見るようになる

プラスとマイナスのバランスと、タイミングの見きわめフォロー体制づくりが、とても重要!

久保山茂樹・小林倫代(2000)

障害の受容と言うけれど・・・
わが子に障害があることを認めるには長い時間が必要

▶ともに考える人がいる

- わが子を「かわいい」と思う人がいることが伝わる
- 園の大切な子どもであることが伝わる
→ 試行錯誤だとしても、支援がなされている
- 「あなたのせいではない」「今までよくがんばった」と認めてくれる人がいる

▶専門機関の利用は園での支援充実のため

- 支援を充実させることが目的であることを伝える
- 専門機関に同行したり、お手紙を出す

[ワーク]

ワーク時間 5分

保護者のおもいを踏まえながら、専門機関を紹介するにはどのようにしたらよいか話し合ってみましょう。

*個人受講の方は、空いているスペースに書き出してみましょう。

振り返りシート	受講日	年	月	日
研修を受けて 感じたこと、考えたこと				
チャレンジしたいこと、 改善していきたいこと等 (振り返り予定 月 日)				
振り返りと次の目標 (実施日 月 日)				

保護者の歴史から学ぶ、 そして、協働する

国立特別支援教育総合研究所
久保山 茂樹



子どもが支援が必要だと
保護者も支援されるだけなのか？

保護者の
親としての歴史 から学ぶ
人としての歴史 から学ぶ



学ぶ姿勢を持てば、お互いに学び、
手をつなぐことができる
支援 するだけではなく 協働 する！

保護者のことば・・・迷いつつ、ぶつかりつつ、
それでも歩んでいる方たちからの学び

重度の知的障害と自閉症のあるお子さんを持ち、
日々子どもと向き合いつつ、仕事を続けてきた母親、
「後遺」の保護者が目の前で泣き崩れるのを見て・・・

大丈夫よ！そのうち絶対落ち着くから。
この人なんか、昔は、ほんとに大変だった
んだから。でもいま、私が泣いていると、
たんすから降りてきて背中さするのよ。

(保護者懇談会にて)

保護者のことば・・・迷いつつ、ぶつかりつつ、
それでも歩んでいる方たちからの学び

「お子さんの苦手なところや弱いところ、足りないところ
だけではなく・・・」と、久保山が話したことに対して・・・

先生、今のは取り消して下さい！
うちの子どもの発達が遅れているのは
認める。でも、

この子に「足りないところ」がある とは
一度も思ったことはありません！

(保護者懇談会にて)

お母さん、少し、休まない？ 河田真智子

休もう

障害児の母親としての「私」ではなく
私自身のための時間をもとう
子どもが障害をもったのは「私」のせいだから
休まないほうが楽だと言う母親がいる

断じて言おう

「あなたのせいではない」

著者：河田真智子
出版社：毎日新聞出版



たとえ、あなたのせいであったとしても
休むことは子どものためでもあるのだから
「お母さんが元気でなければ、子どもが困る」
「休むことは罪ではないのだから」
と、私も言ってもらった

本当に疲れてしまったら、休む術さえ
みつけれなくなるから
本当に疲れてしまう前に
休むための糸口をみつけておこう

はたらくことで、精神的に (+)

就労している保護者

2003年調査 小林・久保山・伊藤

疲労感
待遇の不満
時間的制約 などを感じている

しかし！
子どもと離れる時間がある

・気持ちの切り替えができる
・自分らしさが保たれる

精神的 (+)

就労していない保護者

閉塞感
疎外感
焦燥感 などを感じている

精神的 (-)

仕事を続けてきて良かったこと

1. 「親ではない時間」を過ごせる
 - ・仕事をしていると子どもから離れられる。自分の時間を持ち、気分転換できる。 そうすると子どもと接する喜びが大きい。
 - ・子どものことだけを考えて落ち込んでいた時期を断ち切るのに、仕事はとても良かった。
2. 社会の一員でいられる
 - ・職場の人との取りとめのない話に勉強させられることが多い。情報の幅と視野が広がる。
 - ・保育士は笑う仕事。それで救われた。仲間にも恵まれた。何でも話せる。
3. 前向きに生きられる
 - ・家にいると憂鬱がちになるが、外に出ているのでつまらないことを考えず前向きに進める。
 - ・仕事をしないとだらだらで、メリハリがなくなる。



仕事のイメージ

1. 自分に不可欠なもの
 - ・仕事をしなければならない訳ではない、でも、仕事をしていない自分は想像できない。
 - ・仕事をする事で自分が自分でいられる
 - ・結婚前から専業主婦は嫌だと思っていた
 - ・仕事をしている中での子育てだと思ふ
 - ・母として、妻としての部分は大切にしたい。その上での仕事だと思ふ。
2. 社会の一員であること
 - ・人と接するのが自分の得意科目
 - ・社会的身分を持ち社会に通用する自分でいたい
3. 生活のため・・・でも
 - ・子どもの将来のためお金を貯めておきたい
 - ・かせくこと！・・・うーん、結局自分の為かな？
4. リフレッシュ



旅、好きなことをあきらめない から 河田真智子

生まれた子どもが障害をもっていたから
自分の人生をあきらめたと思いたくない
そう考えたら
病気と闘い
辛くても、苦しくても
生きるという旅を続けている娘に対して
失礼だと思ふ
好きなことをあきらめない
それが、少し大変な日常を支えてくれる

保護者のおもいをしっかりと聴くということ

子どものようす
・・・生育歴などを聞くことは、確かに大事だけれど

それよりも！

今までの育児へのおもい

・誰にも言えなかった「育てにくさ」、不安全感、自責の念

ひとりの人間としてのおもい

・パパ・ママだけじゃなく、こうありたかった自分

この先生には何を言っても大丈夫という存在になりたい！

保護者とのおつきあいで大切にしていること

▶保護者が 話したい相手 でありたい

- ・自分ひとりで、抱えこまない！・・・話してみても！
- ・ひとりぼっちにさせない！・・・話していいんだよ！

▶想像力、心のひきだしを沢山持ちたい

- ・これまでの親子の歴史を想像する力、ひきだし
- ・いまの親子のおもいを想像する力、ひきだし

▶ともに考える、ともに試す存在でありたい

- ・提案は1回1つ →とりあえずやってみませんか
- ・うまくいかなくても、次があるさ！

もちろん、久保山はまだ修行中！

[ワーク]

ワーク時間 5分

障害のある子どもの保護者と出会えてよかったこと、
保護者から学んだことを話し合ってみましょう。

※個人受講の方は、空いているスペースに書き出してみましょう。

最後にもう一度 それでいいよ だいじょうぶ！

子育てには、不安がつきもの
そして、先生もいつも迷いの中
でも、自分の子育て、保育に
もっと自信を持ってほしいはず！



そのために、

子どもを それでいいよ だいじょうぶ
と見つめる保護者・先生
保護者を それでいいよ だいじょうぶ
と見つめる先生
先生を それでいいよ だいじょうぶ
と見つめる同僚、先輩



・・・こういつつなかりを大事にしたいですね。

振り返りシート	受講日	年	月	日
研修を受けて 感じたこと、考えたこと				
チャレンジしたいこと、 改善していきたいこと等 (振り返り予定 月 日)				
振り返りと次の目標 (実施日 月 日)				

障害児保育に関する理解を深め、
保護者や関係諸機関との連携を密にする

『障害児保育と日々の保育の関係』

玉川大学・四季の森幼稚園
若月 芳浩



2.保育のあり方による課題

- (1) 出来るだけ皆と同じ経験や活動をさせたい
 - ア. 統合保育的な発想
 - イ. 保護者からの要望や要求が強い
 - ウ. 保育者が「させなくては」と言った意識が強くなる可能性が高い
 - エ. 周囲の子どもも保育者のかかわりを見て「させる」方法を学ぶ可能性が高い

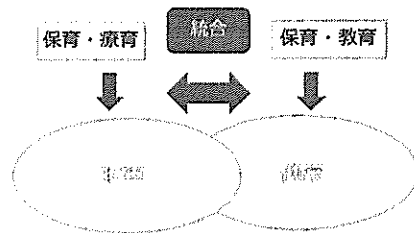
© 2018 玉川大学 発行

1.多様な子どもを受け入れる事

- (1) インクルーシブな保育にかかわる社会的変化と保育
 - インクルーシブな保育の現実に必要な事
 - ア. 保育者がインクルーシブなマインドを持つ事(多様性を受け入れる)
 - イ. 包括・包摂・統合ではなく包摂インクルーシブなのか
 - ・サラマンカ宣言 スペイン サラマンカにて 特別ニーズ教育世界会議 1994 (平6)
 - ・障害者の権利に関する条約 2014年に日本が批准
 - ・障害者差別解消法 2016年 個人に必要な合理的配慮 Reasonable accommodation of the individual's requirements is provide (適当な変更及び調整・過度な負担を課さない・個々のニーズに応える必要性)
- (2) 平等を中軸に据えた教育・保育の課題 多様性(diversity)を受け入れ辛い
 - ア. 日本固有の難しさ 皆と一緒 → 悪平等になる場合がある
 - イ. その人の立場に立った公正・公平を根に据える必要性

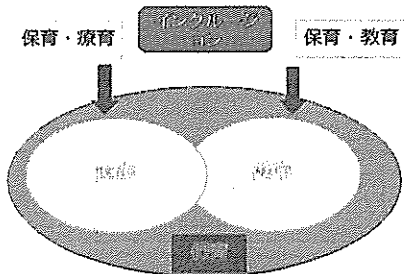
© 2018 玉川大学 発行

統合保育・教育 専門家を含む



© 2018 玉川大学 発行

障害のある子どもが存在することが
当たり前の園生活



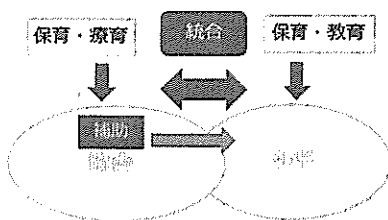
© 2018 玉川大学 発行

3.加配や補助のかかわり

- (1) 担任も加配(補助)も共生する仲間として自然に存在することが必要 → 分離保育にならない!
- (2) 『出来る』『出来ない』での評価ではなく、共に楽しむことが重要 → 保育者や仲間との関係の形成
- (3) 結果として障害のある子どもの存在が当たり前の園生活につながる

© 2018 玉川大学 発行

統合保育における分離の可能性



© 2018 玉川大学 発行

4.園内の連携と共有(幼児理解)

- (1) 園内連携に必要な事
 - 保育者間の対話が最も重要 → 多様な幼児理解
- (2) 日々の出来事を全員で共有する工夫
 - ア. ホワイトボードや付箋などを使って見える化する
 - イ. 可能な範囲で園内研修などを実施 障害理解・保育の方向性を検討
- (3) 障害のある子どもが存在することで、保育の質的な向上につながる可能性が高い (主体性や遊びを大切にされた保育)

© 2018 玉川大学 発行

[ワーク]

「自園の課題は何か」語り合おう

準備

2cm幅の付箋1人10枚程度

A4用紙2枚に以下の内容を貼り付けて整理する

ワーク時間	
グループの場合	10分
個人の場合	7分

進め方

- ① この研修から見てきた自園の課題を各自が付箋に記入
- ② 発表しながら、似ている課題を集めてカテゴライズする
- ③ 園として取り組む必要がある順位をおおまかに決める
- ④ 課題解決のために必要な事を再度付箋に記入する
- ⑤ 課題解決に向けて具体的に実施出来る事を発表する

*個人で行う場合は、①③④を行い、⑤では出来ることを考えてみましょう。

ワークの解説

・ワークから明らかになった園としての課題を保育者間で共有することがとても大切です。保育者による価値観の違いや相違があることは良い傾向なのです。それは、幼児を理解する時に、幼児の見方に対して多様な意見が出た方が、子どもの多様な思いや気持ちを理解することに役立つからです。単一的な見方や捉え方は障害のある子どもに一定のレッテルを貼ってしまう、その子どもの良さが見えなくなってしまう可能性があるからです。

・本研修の重要な課題でもある、多様性を受け入れることは、人間に対する枠組みを広げることにつながります。これを基本として園にある課題を浮き彫りにして、障害のある子どもが存在してくれる事が保育の向上につながる事を少しでも理解出来ると、どの子どもにとっても必要な保育の方向性が見えてくる可能性があります。

まとめ

- ・障害のある子どもが存在することは、私たち保育者に多様な価値観を生み出してくれるとても大切な存在です。
- ・障害のある子どもが存在することは、保育のあり方に新たな方向性を生み出してくれる可能性があります。
- ・この研修を機に、園の保育の課題が明確になることで、新たな園創りにつながる可能性が高くなります。日々の対話や園内研修、情報共有によってこの課題を克服し、園の質的な向上に保育者の皆さんが喜びを感じることが出来れば幸いです。

振り返りシート	受講日	年	月	日
研修を受けて感じたこと、考えたこと				
チャレンジしたいこと、改善していきたいこと等 (振り返り予定 月 日)				
振り返りと次の目標 (実施日 月 日)				

障害児保育に関する理解を深め、 保護者や関係諸機関との連携を密にする

『保護者や関係諸機関との連携』

玉川大学・四季の森幼稚園
若月 芳浩



2.専門機関との連携

- (1) 園の近隣にある専門機関の確認がとても重要
・福祉保健センター ・発達支援センター ・療育センターなど
・医療機関 児童精神科 ・民間の相談機関 ・巡回相談等
- (2) 専門機関の役割をしっかりと理解する
ア. 専門機関との連携のためには、まずその役割を認識し、園から積極的
的にアプローチする(個人情報や守秘義務に注意)
イ. 連携を実施する場合は対象児の保護者に承諾を得る(可能な場合は保護者
に間に入ってもらう)
- (3) 情報の共有・役割の違いを認識・園としての方向性をしっかりと
示す必要性(園は専門機関の下請けではない、保育の専門家である)

4.観察と記録の方向性

- (1) 写真などを活用した記録
幼児を理解する手立てとして、写真をフルに活用する
- (2) 記録を教職員全体で共有する工夫
ア.担任が個別指導計画に記入 他の保育者も気付いた事が記入出来る工夫
(個別の保育カルテや掲示板、ホワイトボードなどを活用)
イ.写真の共有出来るクラウドや外付けハードディスクなどの設定
(子どもの日々の姿を見える化するためにデジカメなどを駆使し、安全に保管して
共有する必要性)
- (3) 記録の発信
ドキュメンテーションとしての記録やアプリなどを活用して、保護者に園での出来事
を見える化して理解を深める工夫

ワークの解説

・保護者との連携

障害のある子どもの保護者との関係は、時に難しくなってしまう場合があります。園として障害を認めさせたいと言った気持ちが強くなると、子どもの負の要素を並べて伝えてしまう場合もあります。そのような対応は、保護者との距離を拡げてしまう結果になる場合があります。距離を縮めた上で子どもに必要な保育や家庭での配慮などを双方で語り合う関係の形成のために考えてみましょう。

・専門機関との連携

園周辺の専門機関についての資料を収集しましょう。可能であれば見学に行くなど、積極的なかわりが必要で、その事によって互いの顔が見えるようになり、本当の意味での「連携」が可能になります。表面的な連携では子どもの育ちにつながらないケースもありますので、質の高い双方の理解ができ、連携を探ることが必要です。

1.保護者との連携に必要な事

- (1) 信頼関係の形成と対話が重要
ア. 保育者の専門性として、障害の基礎知識はとて重要
イ. 話しやすい雰囲気、自分の子どもの事をしっかり見てくれていると感
た実感が伴っている事
- (2) 障害の疑いがあるような場合
ア. 焦って専門機関に促すことは危険
イ. 保育の中で出来ることを丁寧に探る 共に子どもを育む感覚の醸成
- (3) 日々の保育を可能な限り見える化する工夫

3.個別の支援計画の作成

- (1) 個別の支援計画の作成 (別紙資料参照)
専門機関との情報共有のためにも重要 小学校への進学の際には幼保小連携の
ため、また個々の育ちの連続性を接続するためにも重要
形式的なものから幼児の理解に関係する内容にしていける必要性
小さな変化や育ち、好きな事や特性を総合的に理解するためにも重要
- (2) 幼保小の接続期を大切に考える
ア. 個々の育ちをつなげる工夫 指導要録・保育要録の送付だけでなく、申し送りなど
具体的機会を創る
イ. 保護者が安心して就学を迎えられるような連携 可能であれば就学後の連携も実施
- (3) 全体的な計画に基づく指導計画の作成 個別指導計画の作成 (別紙資料参照)

[ワーク] 「連携をキーワードに」園の課題を語り合おう

準備

2cm幅の付箋1人10枚程度
A4用紙2枚

ワーク時間
グループの場合 10分
個人の場合 7分

進め方

- ① 保護者との連携について、保護者の固有名詞をあげて課題を記入
- ② 付箋をA4の用紙に貼る 共通する保護者は同じ場所に貼る
- ③ 課題になっている事を共有し、1ヶ月程度を目安に方向性を検討
- ④ 専門機関についての理解と課題について付箋に記入
- ⑤ 付箋を貼り、園全体の課題を明確化 解決の手立てを語る

*個人で行う場合、⑤では①～④を基に解決の手立てを考えてみる

まとめ

・保護者との連携において、保育者の専門性はとて重要で、しかし、知識レベルだけが高くて関係の形成にはつながらない事もあります。保護者の立場からすれば、自分の子どもを預けている先生方が、しっかりと自分の子どもの障害と向き合い、日々丁寧にかわりかけてくれている事が重要です。しかし、子どもの小さな育ちはなかなか見えない事があります。子どもの持つ園での興味や関心、楽しんだ事、周囲の子どもとのつながりなど、場面を捉えてエピソードや写真などを活用して、見える化することが大切です。

・専門機関との連携では、保育を担っている園や保育者も保育の専門家であることを意識する必要があります。専門機関と園は対等の関係です。お互いの持つ強みを活かして子どもの育ちのために協力する姿勢でかわりを深めることが結果的に子どもの育ちにつながります。互いに忙しいのは当然ですが、忙しい中での連携を積み重ねることで、保護者も園を信頼し、全体的な園としての質の向上につながります。

振り返りシート	受講日	年	月	日
研修を受けて 感じたこと、考えたこと				
チャレンジしたいこと、 改善していきたいこと等 (振り返り予定 月 日)				
振り返りと次の目標 (実施日 月 日)				